

北区地域福祉活動に関する アンケート調査結果



1 アンケート調査の目的

大阪市第3期北区地域福祉計画の策定（令和7年3月策定予定）に向け、現行の第2期計画の進捗状況及び課題を把握することを目的に実施。

2 実施期間

令和6年6月20日～令和6年8月9日

3 アンケート調査の対象

民生委員・児童委員、主任児童委員、地域社会福祉協議会（会長・副会長など）、地域福祉コーディネーター、食事サービス／ふれあい喫茶／子育てサロンなどの担い手、ボランティア・市民活動センター登録者などの、日頃から地域で活動いただいている方を対象にアンケート調査を実施

回収件数 368 件（無回答含む）

令和6年9月

大阪市北区役所 福祉課
大阪市北区社会福祉協議会

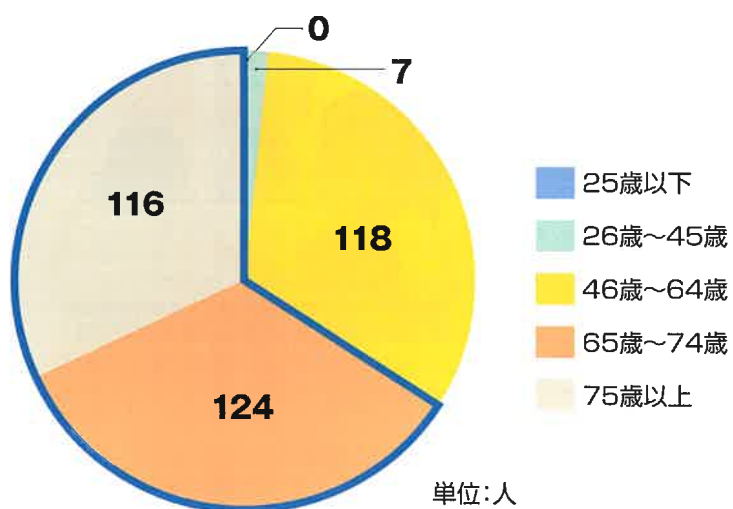
I. あなた自身のことについてお聞きます。

問1 年齢は？（記入日現在の満年齢）

回 答

区分	25歳以下	26歳～45歳	46歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
人数	0人	7人	118人	124人	116人

総数：365人



結果の概要

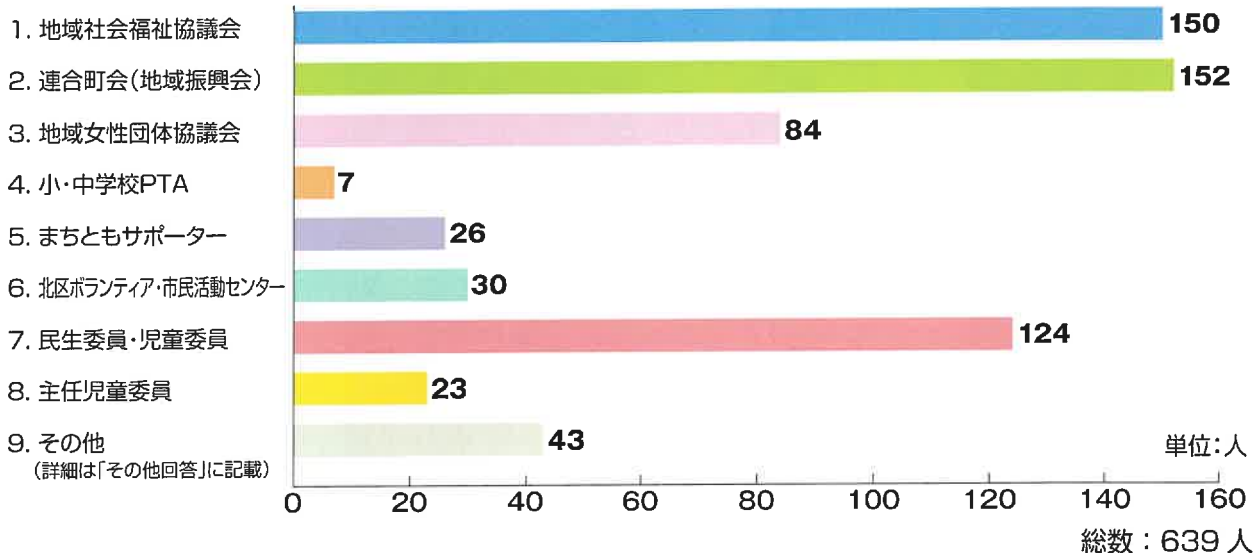
- ◎65歳以上が全体の65%を超えている。
- ◎地域活動の担い手が高齢化している。



I. あなた自身のことについてお聞きします。

問2 所属されている団体は？（複数回答可）

回 答



その他回答 (五十音順)

- エンゼルサポーター
- 学校元気アップ地域本部
- キタ歓楽街環境浄化推進協議会
- 北区友会
- 健康づくり推進協議会
- 更生保護女性会
- 高齢者食事サービス
- 子ども会
- 子供見守り隊
- 生涯学習推進員
- 人権啓発推進員
- 水防団員
- スポーツ推進委員
- 生活支援員
- 青少年指導委員
- 青少年福祉委員
- 体育厚生協会
- 地域活動協議会
- 地域福祉コーディネーター
- 地域防災リーダー
- はつらつ脳活性化サポーター
- ふれあい喫茶
- 防災ボランティアセンター
- 防犯協会
- 保護司会
- 老人クラブ
- 老人福祉センター

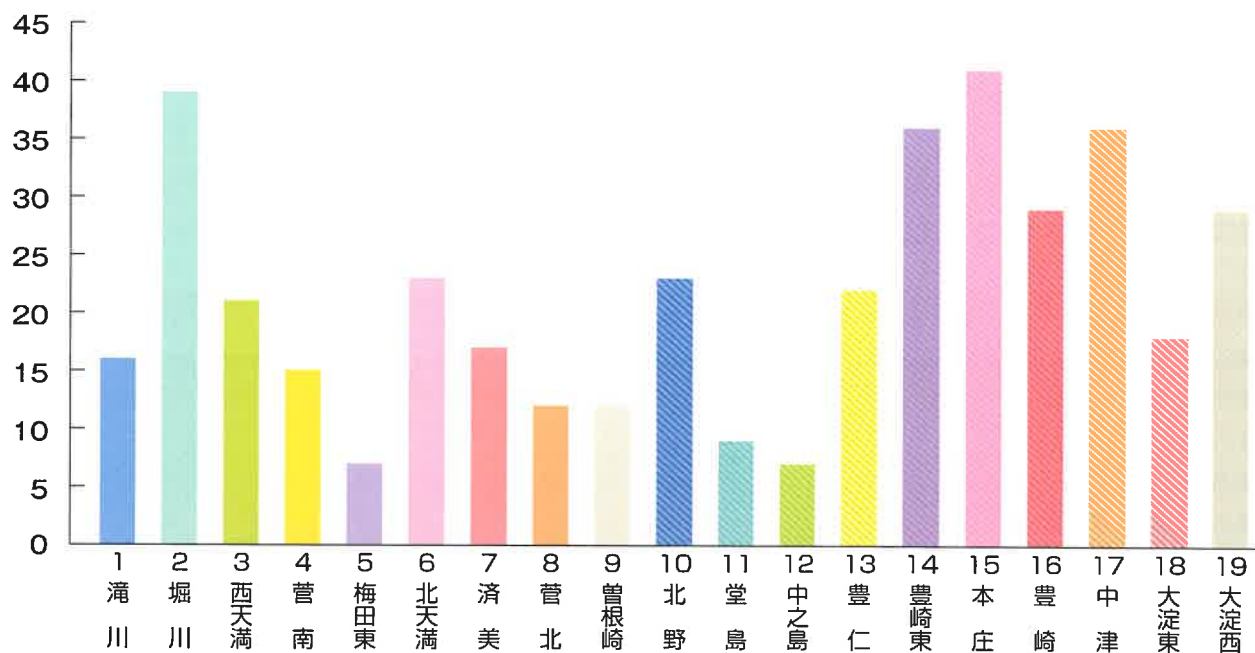
I. あなた自身のことについてお聞きます。

問 3 あなたの活動されている地域はどちらですか？（複数回答可）

回 答

地 域	人 数	地 域	人 数
1. 滝 川	16	10. 北 野	23
2. 堀 川	39	11. 堂 島	9
3. 西天満	21	12. 中之島	7
4. 菅 南	15	13. 豊 仁	22
5. 梅田東	7	14. 豊崎東	36
6. 北天満	23	15. 本 庄	41
7. 済 美	17	16. 豊 崎	29
8. 菅 北	12	17. 中 津	36
9. 曾根崎	12	18. 大淀東	18
		19. 大淀西	29

総数：412人



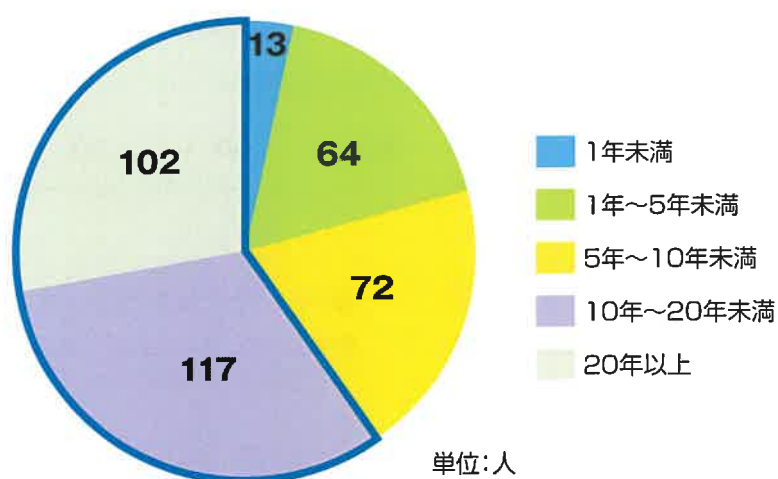
I. あなた自身のことについてお聞きます。

問 4 あなたの活動年数は？（複数の活動をされている方はいちばん長い活動に○をつけてください。）

回 答

区分	1年未満	1年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上
人数	13人	64人	72人	117人	102人

総数：368人



結果の概要

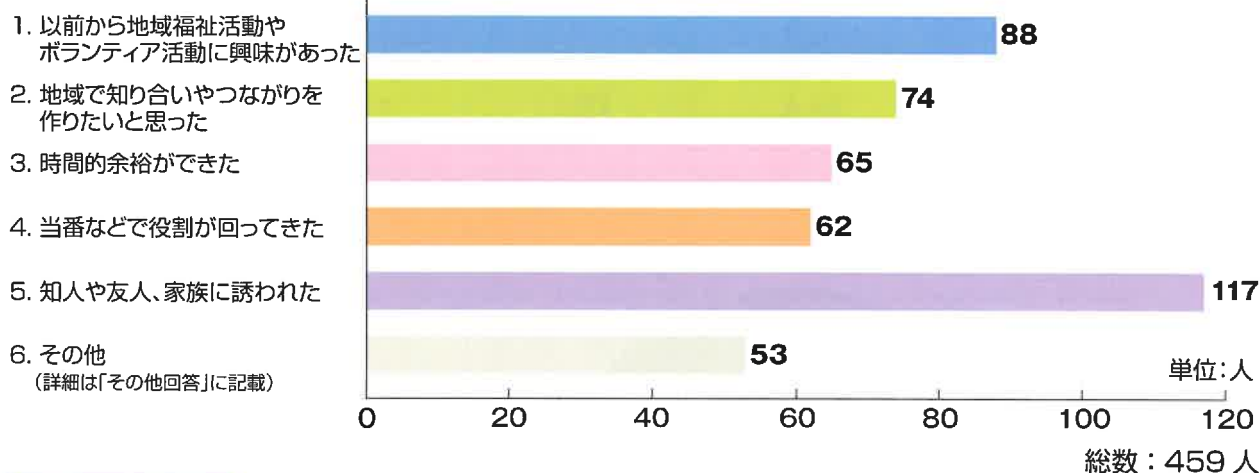
- ◎最多は「10年～20年未満」の117人。
- ◎次に「20年以上」の102人。
- ◎約6割の方が10年以上にわたり地域福祉活動を担っている。

I. あなた自身のことについてお聞きます。

問5 あなたが一番最初に活動をはじめられた理由・きっかけは何ですか？

(複数回答可)

回 答



その他回答

- 自分の住んでいる環境をより良くしたいと思ったため。
- 様々感謝することがあって、感謝の気持ちを行動に変えてと思い、自ら公園清掃をはじめたのがきっかけ。
- 地域活動を行っている前任者から後任の依頼を受けた。
- 地域の役員や代表者、知人などから、勧誘や依頼を受けたのがきっかけ。
- 地域で何かお手伝いできることがあればと思って。
- 区役所広報を見て。
- 保育園父母の会会長がきっかけで、小学校、中学校PTA、青少年指導員、民生委員等へと活動を継続してきた。
- 長年生活している地域ですので、することは当たり前と思っています。
- どういう活動をされているか知りたかった。
- 長年訪問ヘルパーをしていてやめることになり、時間ができたため。
- 他県から来たばかりで娘が講座に申し込んだのがきっかけです。
- PTA 役員 実行委員 (幼 小 中) を受けてから。
- 以前住んでいた地域 (他都市) でも子育て支援の活動をしていたので。
- 50 歳の手習いです。世の中の役に立つことを始めたいと思った。
- 大淀老人福祉センターの養成講座に参加したことがきっかけ。
- 60才定年を迎えたのを機に、設問①②③がきっかけで。
- 平成 6 年頃 地域福祉医療ネットワーク推進委員でした。
- 子どもたちが好きだから。
- 町会の役をしてからボランティアをするようになった。
- 楽しい地域にしたいと思った。

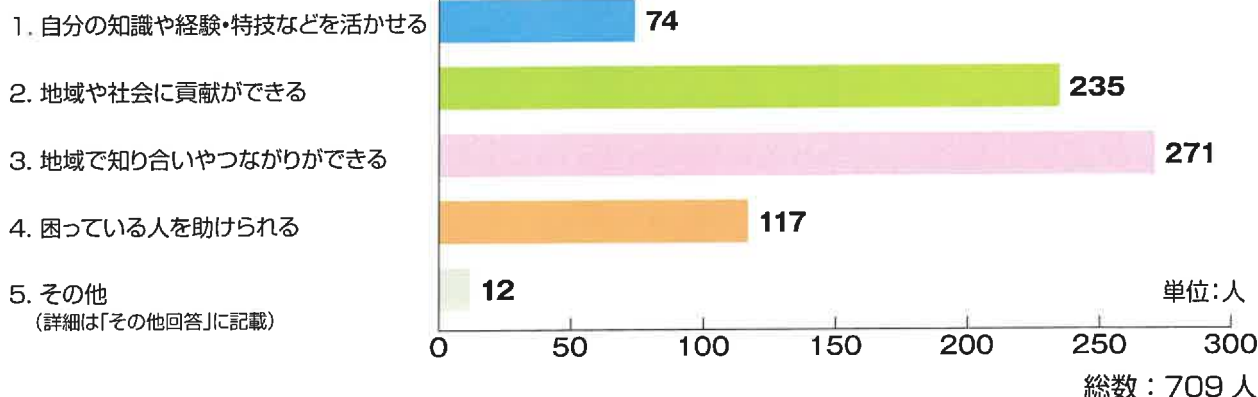
結果の概要

- ◎最多は「知人や友人、家族に誘われた」の 117 人。
- ◎次に「以前から地域福祉活動やボランティア活動に興味があった」の 88 人。
- ◎本人の興味とともに身近で活動をしている人からの影響が大きい。

I. あなた自身のことについてお聞きします。

問 6 あなたが考える活動の魅力は何ですか？（複数回答可）

回 答



その他回答

- お金では買えない貴重な経験ができる。
- 自己啓発・知識の向上ができる。
- 仕事の合間にするので 100%注力できないのが悩み。
- 人生の勉強のため。
- 親がお世話になったので恩返しを。
- 貢献とまではいかず、子育ての時にご近所から協力頂いたお返し。
- 独居高齢者の憩いの場
- 相手方からも多くのことが学べる。
- 他県で民生委員・地域会計・PTA 役員してきましたが、依頼される喜びを感じられた。
- 見聞を広げるため。
- 女性会のつながりのため。
- 人との関係に学べるものがある 自身の修行のため。
- 自分が外に出るきっかけがあり健康につながっている。
- 所属員の喜びが増える。

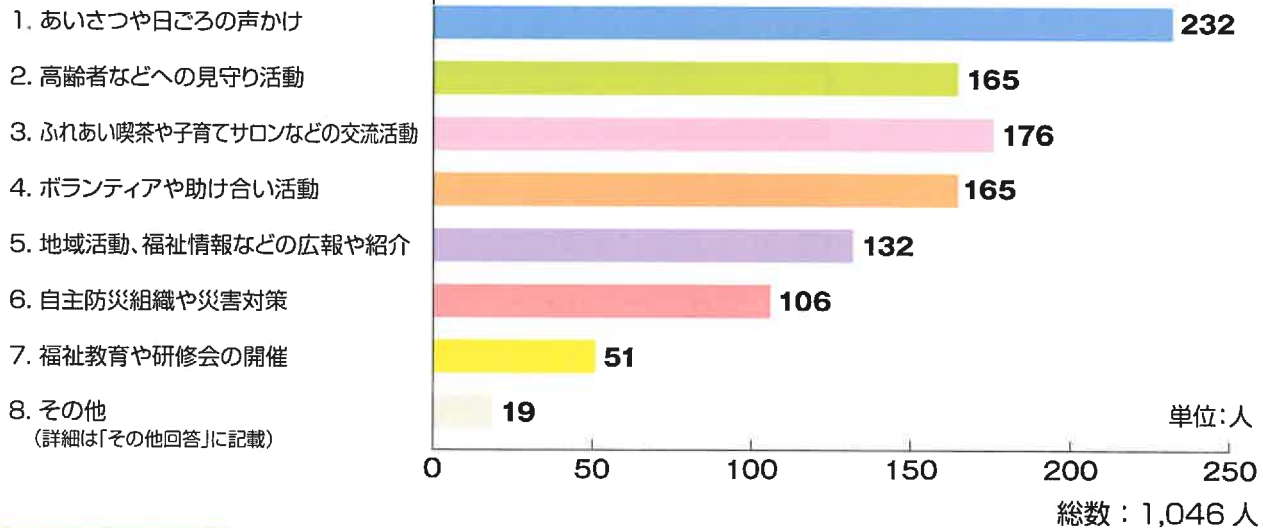
結果の概要

- ◎ 最多は「地域で知り合いやつながりができる」の 271 人。
- ◎ 次に「地域や社会に貢献ができる」の 235 人。
- ◎ また、活動することにより人生経験を積み学ぶことができる。との意見もある。

Ⅱ. あなた自身の活動内容・活動状況についてお聞きます。

問 7 活動されている地域で、この間に取り決めた活動内容について教えてください。（複数回答可）

回 答



その他回答

- 毎月1回の子ども会活動。
- 児童・生徒の通学時の見守り活動 警察署、生活安全課、交通課、地域課との情報交換。
- 研修会、参加の呼びかけ。
- 生涯学習
- はつらつ脳活性化教室
- 百歳体操で地域から2名のリーダーを迎えた（有意義で楽しかった）。
- 百歳体操、いきいき脳活性化事業
- 小学生の見守り活動を行っている。
- 中津はつらつ脳活性化教室への参加。
- 母子家庭の訪問、現況確認
- 町会主催のイベントの手伝い、子ども向けイベントの手伝い。
- モビバン体操指導
- 北区のファミリーサポート事業で保育園への送り迎えを定期的に行っている。
- パフォーマンスのボランティア
- バス旅行による交流活動
- 学習支援

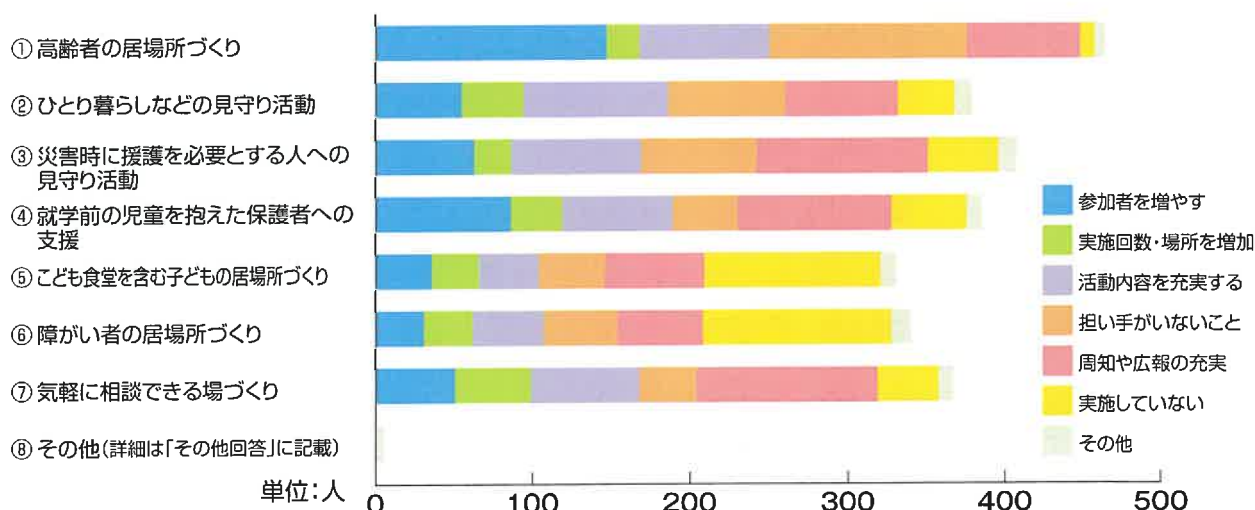
Ⅱ. あなた自身の活動内容・活動状況についてお聞きます。

問 8 活動されている地域において、次の①～⑧の現状について、気になっていること・課題だと思っていることについてそれぞれ選んでください。

(複数回答可)

回 答

項目／回答	気になっていること・課題(複数回答可)						
	参加者を増やす	実施回数・場所を増加	活動内容を充実する	担い手がいないこと	周知や広報の充実	実施していない	その他
① 高齢者の居場所づくり (例:脳活、食事サービス、ふれあい喫茶など)	147	21	82	126	72	9	7
② ひとり暮らしなどの見守り活動	55	39	92	74	72	36	12
③ 災害時に援護を必要とする人への見守り活動	63	23	83	73	109	45	12
④ 就学前の児童を抱えた保護者への支援 (例:子育てサロンなど)	86	33	70	41	98	48	10
⑤ こども食堂を含む子どもの居場所づくり	36	30	38	42	63	112	10
⑥ 障がい者の居場所づくり	31	31	45	47	54	120	13
⑦ 気軽に相談できる場づくり	51	48	69	36	115	39	10
⑧ その他(詳細は「その他回答」に記載)							4



Ⅱ. あなた自身の活動内容・活動状況についてお聞きします。

問 8 活動されている地域において、次の①～⑧の現状について、気になっていること・課題だと思っていることについてそれぞれ選んでください。

(複数回答可)

- ① 高齢者の居場所づくり（例：脳活、食事サービス、ふれあい喫茶など）
- ② ひとり暮らしなどの見守り活動
- ③ 災害時に援護を必要とする人への見守り活動
- ④ 就学前の児童を抱えた保護者への支援（例：子育てサロンなど）
- ⑤ こども食堂を含む子どもの居場所づくり
- ⑥ 障がい者の居場所づくり
- ⑦ 気軽に相談できる場づくり
- ⑧ その他（具体的に）

その他回答

- 防犯委員の高齢化に伴い辞める人が続いており、新たに委員になってくれる人が全くいない。
- ボランティアの高齢化
- 異性への訪問は二人で行くので回数が少なくなります。
- 子育て支援活動など、個人で活動している方も広報紙などで、周知して欲しい。
- 「⑤こども食堂」実施しているかわからない。「⑥障がい者の居場所づくり」実施しているかわからない。
- よく似た名称の団体や催しが複数あるが、どう違うのか、わかりづらい（対象年齢、活動等）。横のつながりもないように思う。
- 「⑥障がい者の居場所づくり」に関して実施されているのかどうか知らない。「⑦気軽に相談できる場づくり」が、もし実施されているなら広報の必要があると思う。
- スマホ相談員として、高齢者のスマホ使用は初心者レベルには、ほぼ達成していると思われ、使っていてよりレベルの高い相談が増えている様に思われる。
- 障がいとはどんなことなのか理解が浅く、どのような当人の悩みをお持ちかわからず、問題が気づいていない。障がいによる困っている点を「まず具体的に知ること」かと思った。
- 地域住民が減り参加人数も少なくなっている昨今、住民同士の交流が大切と実感しています。
- 見守りが必要な人が誰とどこにいらっしゃるかわかる方法が少ない。特にマンション等はわからない。
- ④の就学前の児童を抱えた保護者が集まれる場所がない。学校の多目的室を利用して開催できればいいが、主任児童委員一人だけでは、負担が多く開催できない。
- 「⑤こども食堂を含む子どもの居場所づくり」について、子ども達が集まって楽しめるイベントは開催しているが、居場所とまではいかないと感じる。
- 先ず声かけが必要。
- 「⑦気軽に相談できる場づくり」について、昨今、学校に行かない・行けない生徒が増えていると感じる。何でも悩み事を話せる人と場所が必要で、もっと考えるべき。
- 住民の大多数がマンション住まいのためアクセスしにくい（②ひとり暮らしなどの見守り活動、③災害時に援護を必要とする人への見守り活動）。
- 家族に障がい者がいる事もあり、自分は子供をつれて積極的に参加している。

Ⅱ. あなた自身の活動内容・活動状況についてお聞きします。

問9 あなたは、活動に際して、今後どのようなことが必要だと思いますか？

(複数回答可)

問9-1【交流や関係づくりに関して】

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 要援護者や家族との交流 | 2. 団塊世代やマンション住民との交流 |
| 3. 多様な世代との交流 | 4. 孤立している人などとの交流 |
| 5. 困った時に相談できる関係づくり | 6. 福祉の専門家などとのつながりづくり |

問9-2【配慮や心がけに関して】

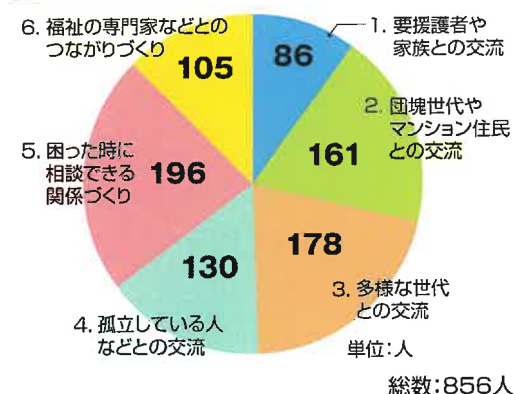
- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 7. 参加者とスタッフ(地域活動者)が話し合う | 8. 参加者とスタッフ(地域活動者)と一緒に楽しめる |
| 9. 地域や福祉などの情報提供 | 10. 地域や福祉などを体験する機会提供 |
| 11. 商店や企業、NPO などとの連携 | 12. 自由に意見がいええる雰囲気 |
| 13. 活動目的や方法などの共有 | 14. 個人の知識や経験などを生かせる場 |

問9-3【その他】

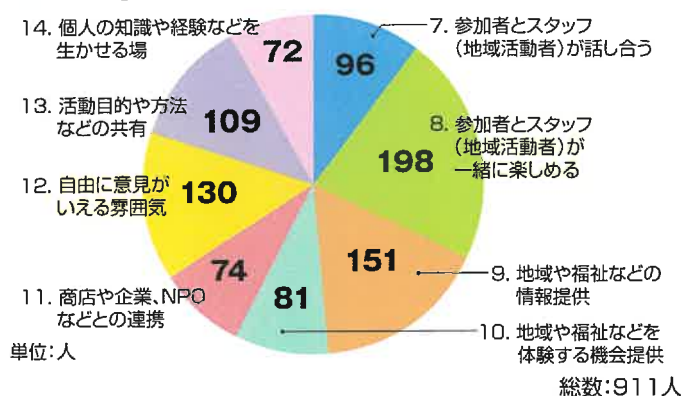
- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 15. 活動費用を捻出する取り組み | 16. 会社や家族などの理解や応援 |
| 17. 地域活動者に役割や責任を認識してもらう | 18. その他(その他回答に記載) |

回 答

■ 問9-1【交流や関係づくりに関して】



■ 問9-2【配慮や心がけに関して】



■ 問9-3【その他】



Ⅱ. あなた自身の活動内容・活動状況についてお聞きします。

問 9 あなたは、活動に際して、今後どのようなことが必要だと思いますか？

(複数回答可)

その他回答

- ボランティアの内容が過剰に負担にならない様に、行政がもっと後押ししたり手をかしてくれること。
- 若い人がいなくて、同じ人達だけが動いている。世代交代が必要と感じる。
- 同じ人（役員他）にばかり活動が集中する。兼務しすぎ。
- ボランティア不足 高齢化、これが重大な課題です。
- 無償ではなく少しでも有償に。ボランティアの善意だけでは限界があると思う。
- 地域で行なわれている取り組みを多くの住民に知ってもらう。
- 気軽に参加できる雰囲気作り、一人の人に負担がかからないようにみんなで気軽取り組むこと。
- 全企業が何かしら地域の活動に参加できる意識改革が必要だと思う。
- 町会にとらわれない、各種団体との協働。
- 住民が町会に加入すること。

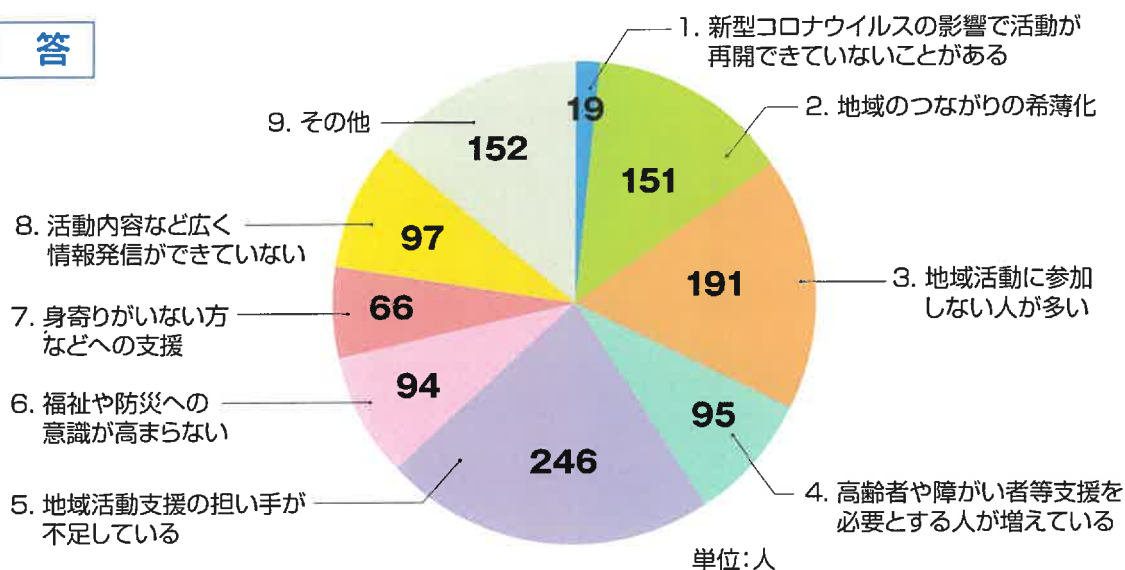
II. あなた自身の活動内容・活動状況についてお聞きます。

問 10 地域活動を行うにあたって現在課題と感じていることは何ですか？

(複数回答可)

1. 新型コロナウイルスの影響で活動が再開できていないことがある
2. 地域のつながりの希薄化
3. 地域活動に参加しない人が多い
4. 高齢者や障がい者等支援を必要とする人が増えている
5. 地域活動支援の担い手が不足している
6. 福祉や防災への意識が高まらない
7. 身寄りがない方などへの支援
8. 活動内容など広く情報発信ができていない
9. その他（詳細は「その他回答」に記載）

回 答



総数：1,111人

その他回答

- 地域活動に対する年代間の意識や関心の違い、いわゆるジェネレーションギャップ！
- マンション居住者と昔からの居住者とのコミュニケーションが難しい。
- 無償のボランティアさんだけでは限界があると思う。
- マンションが多く建ちマンションの住人の方との地域のつながりの希薄を感じます。
- ネットでの情報発信を区などで支援してほしい。
- 一部の人に過度に負担がかかっていたり、担い手が高齢者している。

結果の概要

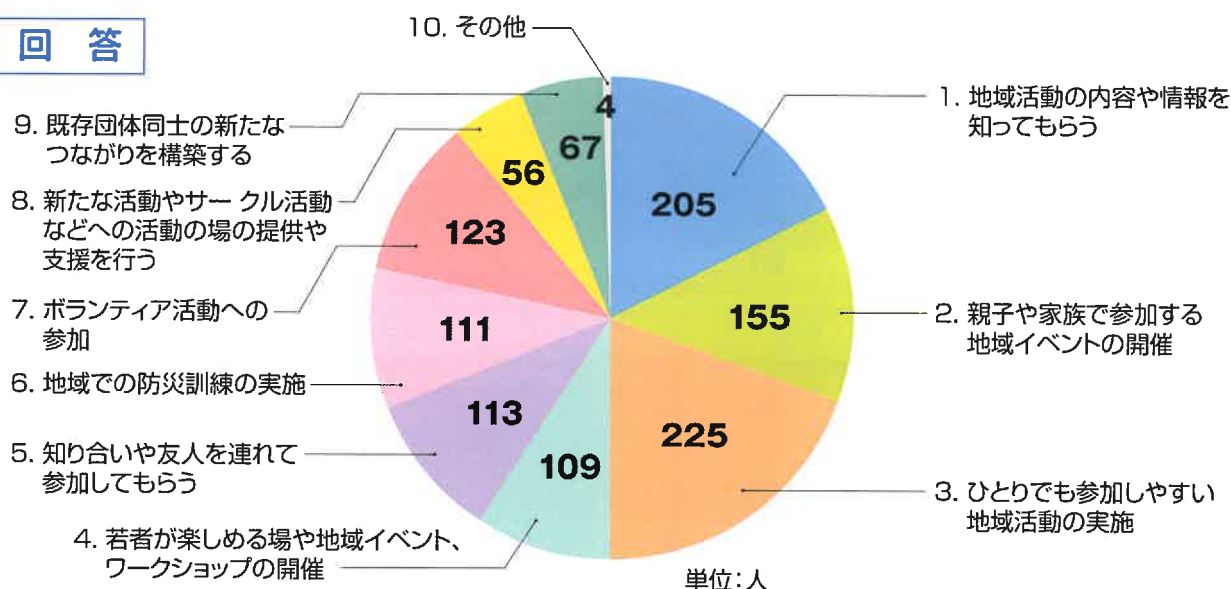
- ◎ 最多は「地域活動支援の担い手が不足している」の246人。
- ◎ 次に「地域活動に参加しない人が多い」の191人。
- ◎ その他、活動の担い手となる人材の育成・確保とともに、活動への住民参加促進や地域のつながりの構築が不可欠であるといえる。

Ⅱ. あなた自身の活動内容・活動状況についてお聞きします。

問 11 地域活動に参加するきっかけづくりは何だと思いますか？（複数回答可）

1. 地域活動の内容や情報を知ってもらう
2. 親子や家族で参加する地域イベントの開催
3. ひとりでも参加しやすい地域活動の実施
4. 若者が楽しめる場や地域イベント、ワークショップの開催
5. 知り合いや友人を連れて参加してもらう
6. 地域での防災訓練の実施
7. ボランティア活動への参加
8. 新たな活動やサークル活動などへの活動の場の提供や支援を行う
9. 既存団体同士の新たなつながりを構築する
10. その他（その他回答に記載）

回 答



総数：1,168 人

その他回答

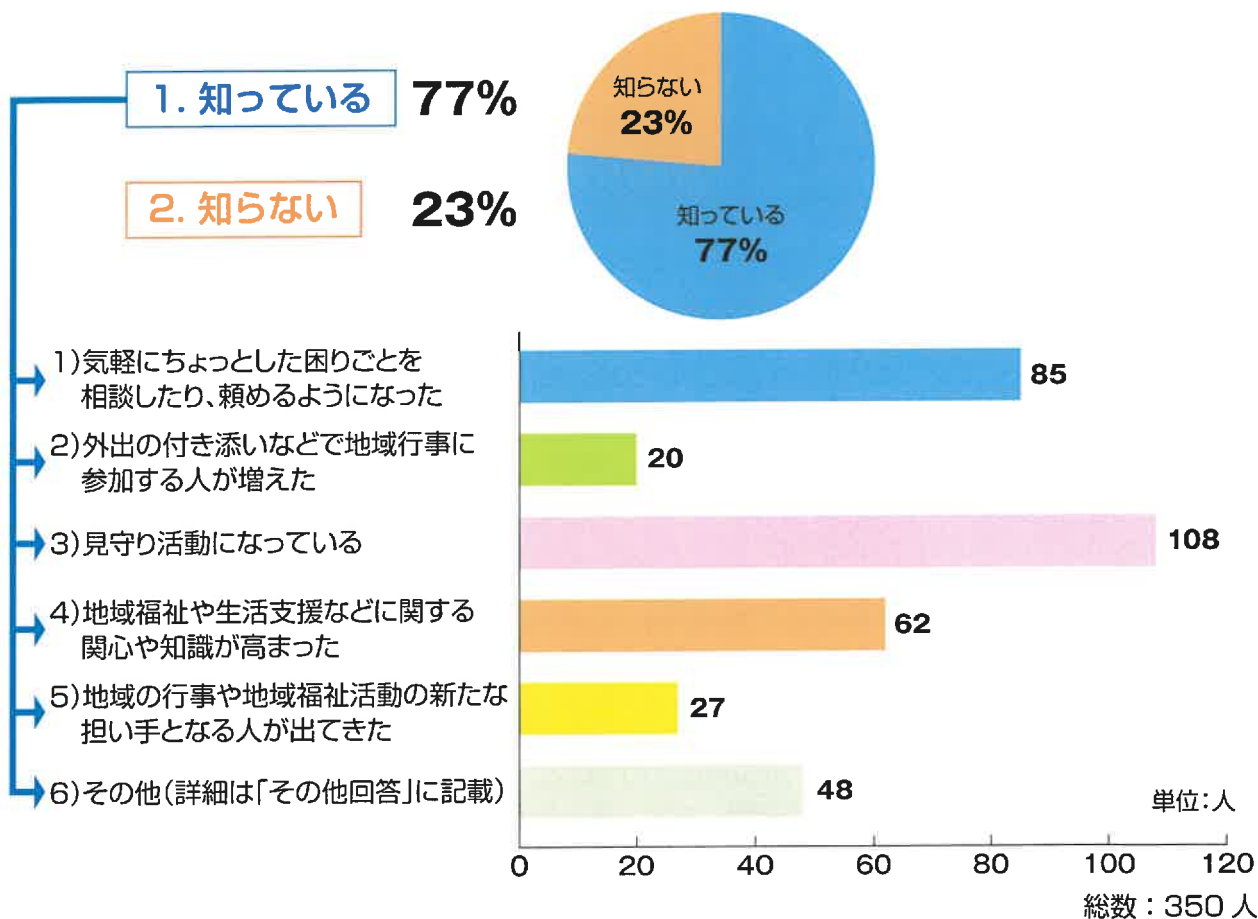
- 地域活動に参加することのメリットを広報する。
- 社会全体のシステム化が進み、昔ながらの人間関係が希薄化していく中、何とか人と人との関係を作ってゆきたいと考えています。
- エンターテインメント的要素を取り入れた活動。なぜならまず自分が楽しめなくては。
- 小中学生～大学生（必須単位）のボランティア活動参加。
- 回覧掲示は効果がある一方で、インターネット等での情報発信が今の時代必要だと思う。

結果の概要

- ◎ 最多は「ひとりでも参加しやすい地域活動の実施」の 225 人。
- ◎ 次に「地域活動の内容や情報を知ってもらう」の 205 人。
- ◎ その他、活動内容の積極的な情報発信や、家族やひとりでも気軽に参加できる環境づくりが必要であるといえる。

Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きします。

問 12 北区では、住民同士の助け合い活動として“まちともサービス”を展開しています。あなたは、“まちともサービス”をご存知ですか？
「知っている」と回答された方は、事業の効果として感じることを1)～6)についてもお答えください。（複数回答可）



Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きします。

問 12 北区では、住民同士の助け合い活動として“まちともサービス”を展開しています。あなたは、“まちともサービス”をご存知ですか？
「知っている」と回答された方は、事業の効果として感じること 1) ～ 6) についてもお答えください。（複数回答可）

その他回答

- 以前から福祉の取り組みをしている方々が、何とか後継者を作ろうと頑張っておられる姿にいつも感謝している。
- まだまだ知られていない。自立支援の介護の従事者及び事業所にまちともを広めてもらえないか。
- まちともサービスは知っているが、身近なところでどのようなことをされているかなど、詳しい活動内容や実際の様子を知る機会があまり多くない。
- 北区の福祉活動に参加する様に支援する。
- 利用方法がわからない。
- チラシが配られている事は知っている。
- 自分の知識を伝えています。
- 繋がりができる。
- 知っているが、事業の効果としての実感・実体験がない。
- いろんなサポートが多様にあることを知った。
- まちともは知っているが、どのようなことをしているのか今一つわからない。
- サポート会員だったが負担が大きかったのでやめざるを得なかった。

結果の概要

- ◎ 事業効果の最多は「見守り活動になっている」の 108 人。
- ◎ 次に「気軽にちょっとした困りごとを相談したり、頼めるようになった」の 85 人。
- ◎ 一方で、まちともは知っているが、どのようなことをしているのか今一つわからない等の意見もある。

まちともサービスとは……

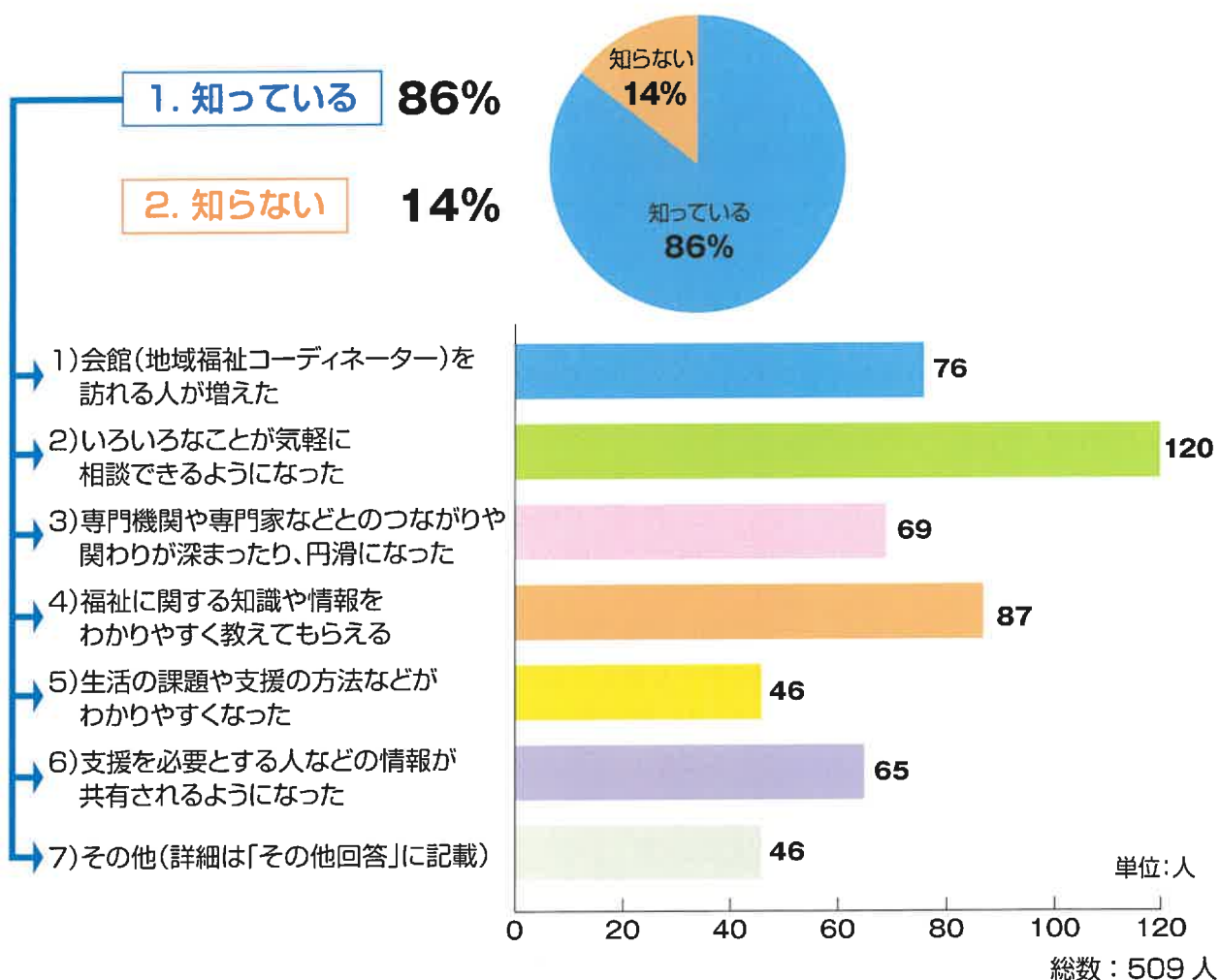
暮らしのちょっとした困りごとを解消するために、住民同士が助け合い、支え合っていくことで成り立つ互助活動。会員（住民）は、サービスの「受け手（利用会員）」にも「担い手（サポート会員）」にもなることができます。

【平成 25 年 11 月から実施】



Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きます。

問 13 北区では、地域みなさんの生活課題を早期に発見し、専門機関につなぐことができるよう“地域福祉コーディネーター”を配置しています。あなたは地域の“地域福祉コーディネーター”をご存じですか？
「知っている」と回答された方は、配置効果として感じること 1)～7) についてもお答えください。（複数回答可）



Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きします。

問 13 北区では、地域のみなさんの生活課題を早期に発見し、専門機関につなぐことができるよう“地域福祉コーディネーター”を配置しています。あなたは地域の“地域福祉コーディネーター”をご存じですか？
「知っている」と回答された方は、配置効果として感じること 1) ～ 7) についてもお答えください。（複数回答可）

その他回答

- いつも笑顔でテキパキとよく動き、なんでも心よく対応してくれるので、心強いし有難いと感謝しています。
- 地域福祉コーディネーターの存在や詳しい活動内容について、地域住民に幅広く知られていないと感じる。
- 支援が必要な人から相談を受けた時に、区役所などより気軽に紹介できる。
- 地域に無くてはならない存在です。
- 困った事があっても気軽に相談できる。
- 福祉用具の借入をスムーズにしてくれた。
- この活動は住民に知られていない。知られていない事に課題がある。
- 存在は知っているが、具体的な仕事は住民に理解されていないと思う。
- 民生委員になって初めてその存在を知った。
- コーディネーターの交代があり、コーディネーターの知識・経験不足が気になる。

結果の概要

- ◎ 配置効果の最多は「いろいろなことが気軽に相談できるようになった」の 120 人。
- ◎ 次に「福祉に関する知識や情報をわかりやすく教えてもらえる」の 86 人。
- ◎ 一方で、地域住民に活動内容が知られていない等の意見もある。

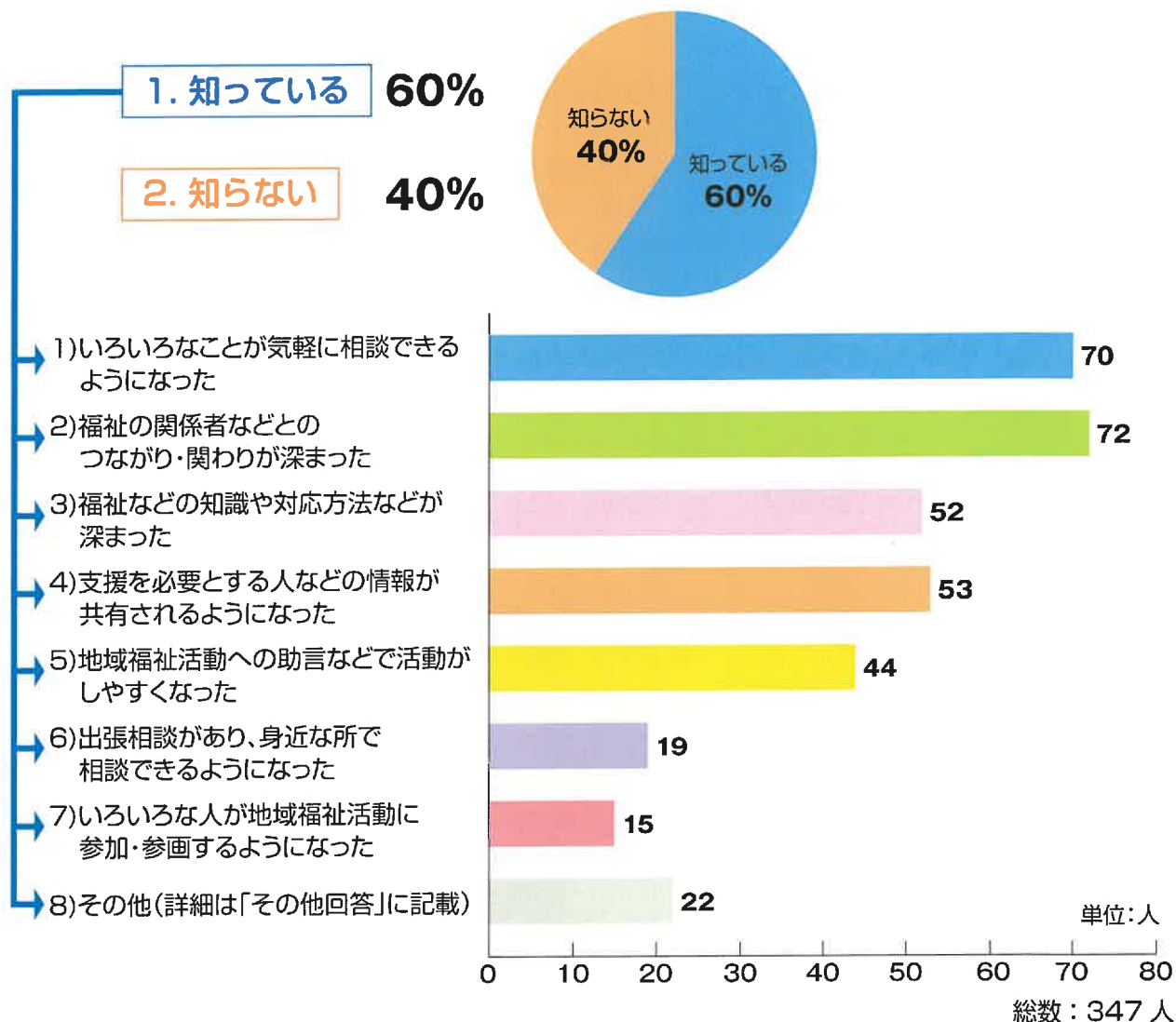


地域福祉コーディネーターの活動とは…

- 各地域の身近な相談対応窓口
- 個別課題に対して、関係機関や地域活動とのコーディネートなど

Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きします。

問 14 北区では、地域だけでは支援が困難な方に対して、“コミュニティソーシャルワーカー (CSW)” を配置しています。あなたは CSW をご存じですか？「知っている」と回答された方は、配置効果として感じること 1)～8) についてもお答えください。(複数回答可)



Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きします。

問 14 北区では、地域だけでは支援が困難な方に対して、“コミュニティソーシャルワーカー (CSW)” を配置しています。あなたは CSW をご存じですか？「知っている」と回答された方は、配置効果として感じること 1) ～ 8) についてもお答えください。(複数回答可)

その他回答

- コミュニティソーシャルワーカー (CSW) の存在や詳しい活動内容について、地域住民に幅広く知られていないと感じる、そのせいか、実際に相談や活用をする機会が十分確保されていないと感じる。
- コミュニティソーシャルワーカー (CSW) につないだり相談したことがない。
- 近年、地域担当者が短期間で変わることもあり、地域での連携やつながりがなかなか続かない。
- 知っているが、事業の効果としての実感・実体験がない。
- 地域福祉コーディネーター (CO) の仕事をするようになって初めて知りました。地域での認知度はまだまだ低いと感じる。
- 地域的に人口が少ないこともあるが、コミュニティソーシャルワーカー (CSW) の活動がわかりません。

結果の概要

- ◎ 配置効果の最多は「福祉の関係者などとのつながり・関わりが深まった」の 72 人。
- ◎ 次に「いろいろなことが気軽に相談できるようになった」の 70 人。
- ◎ 一方で、存在や詳しい活動内容について、地域住民に幅広く知られていない。実際に相談や活用する機会が十分確保されていない等の意見もある。

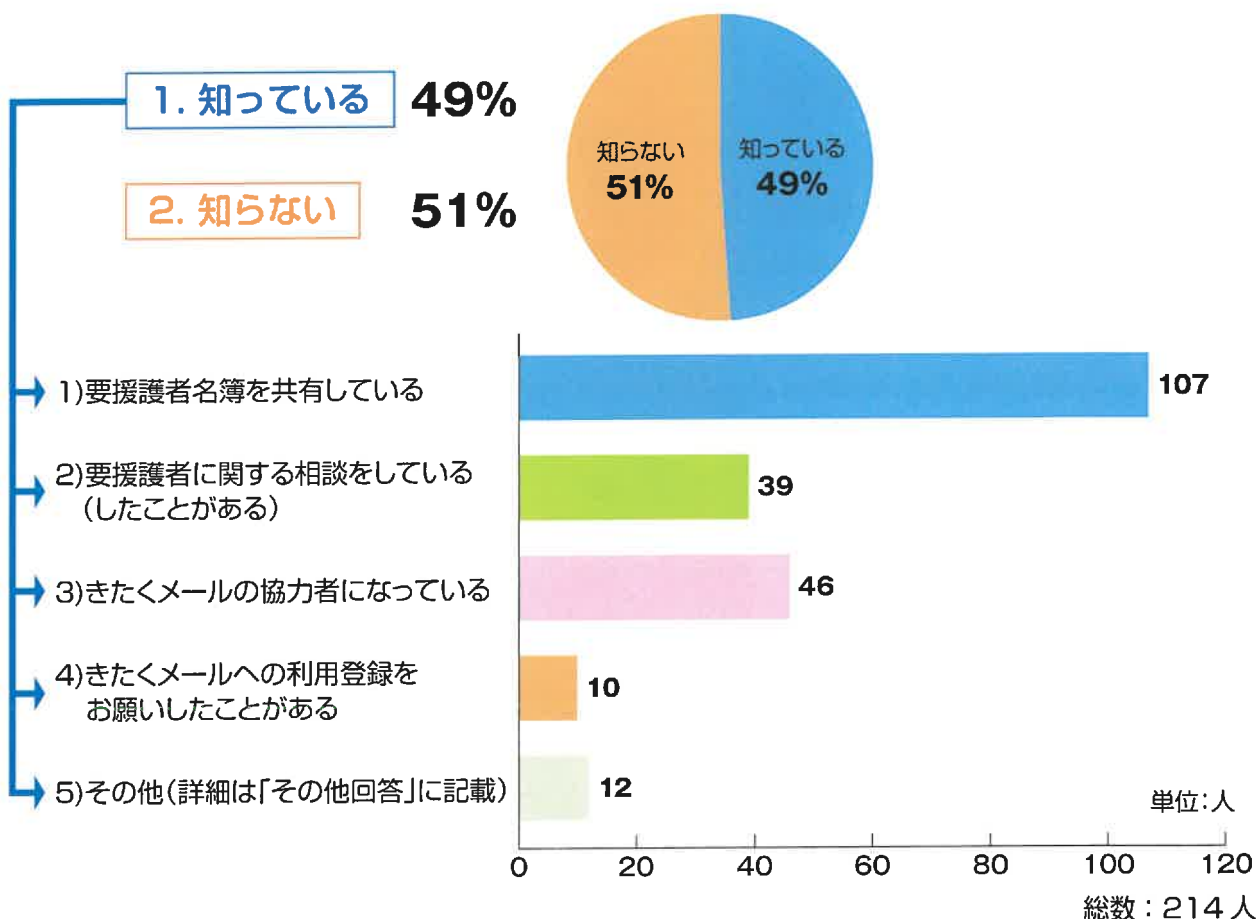


コミュニティソーシャルワーカー (CSW) の活動とは…

- ・各地域の見守り・支え合い活動の支援
- ・解決困難な事例の専門的見地による個別相談・援助
- ・各小地域の身近な相談対応窓口など

Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きします。

問 15 北区では、孤立死の防止や災害時の避難支援など「要援護者の見守りネットワーク」を強化するため“見守り相談室”を北区社会福祉協議会に設置しています。あなたは“見守り相談室”の役割をご存じですか？「知っている」と回答された方は、1)～5)についてもお答えください。(複数回答可)



その他回答

- 見守り相談室の存在や、存在を知っていても活動内容については、詳しく知られていないと感じる。そのため、実際に相談や活用される機会が十分確保されていないと感じる。
- 地域福祉コーディネーター (CO) の仕事に就いて初めて知りました。
- 名称は知っているが、内容ははっきり知らない。
- 存在は知っていますが、具体的な状況はわかりません。

結果の概要

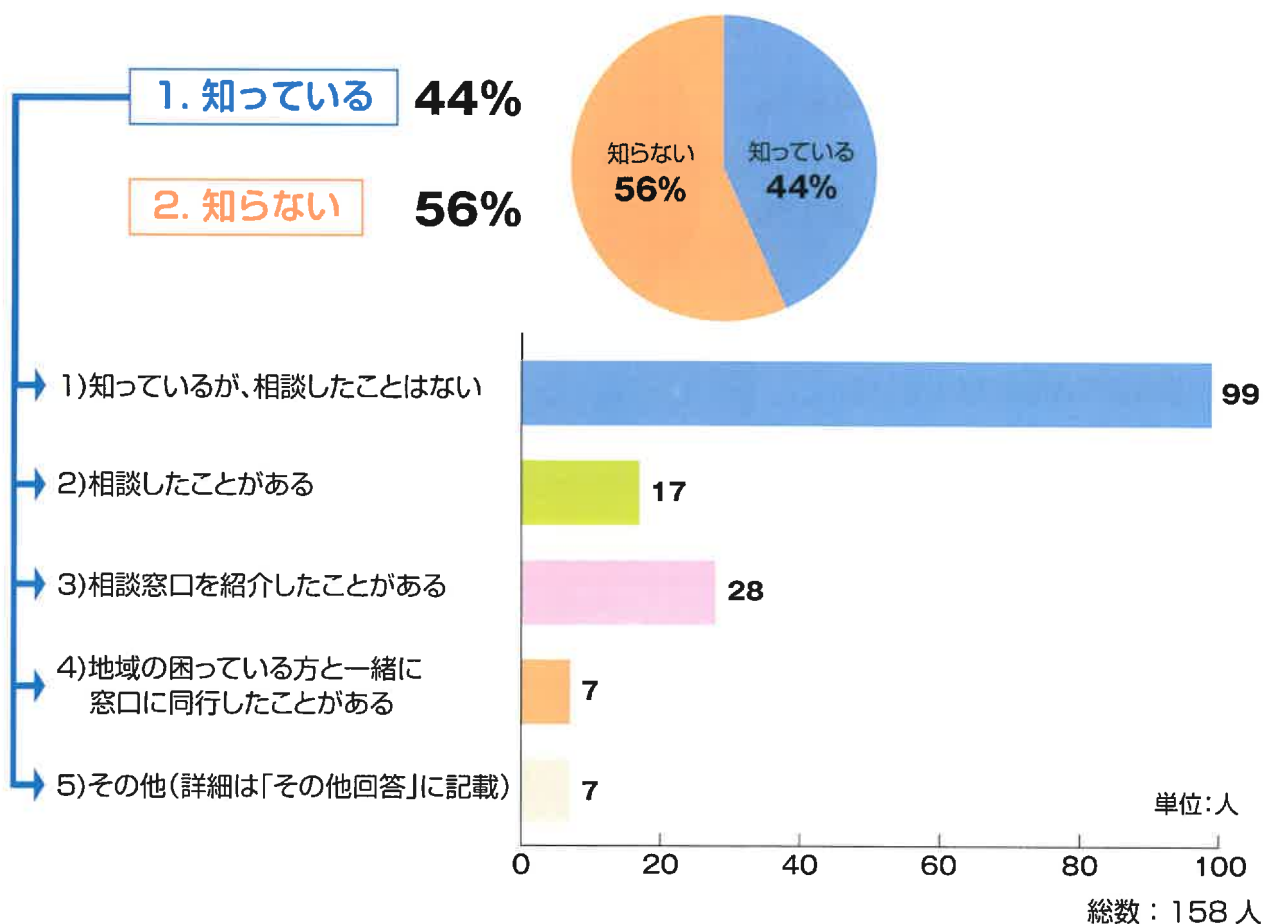
- ◎ 役割の最多は「要援護者名簿を共有している」の 107 人。
- ◎ 次に「きたくメールの協力者になっている」の 46 人。
- ◎ 一方で、存在は知っているが具体的な状況はわからない等の意見もある。



Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きします。

問 16 北区では、就労や経済的な問題、ひきこもりや生活の困りごとの支援に向け生活困窮者自立相談窓口“よりそいサポートきた”を区役所 3 階の 30 番窓口に開設しています。

あなたは“よりそいサポートきた”をご存じですか？「知っている」と回答された方は、1)～5)についてもお答えください。（複数回答可）



その他回答

- 間接的に紹介したことがある。
- 教育支援資金貸付の面談同行した。
- 以前研修にてこのような支援があることを知った。
- 名前だけ知っている。
- 窓口が区役所というのがハードル高い。初めに相談するとすれば地域の方。

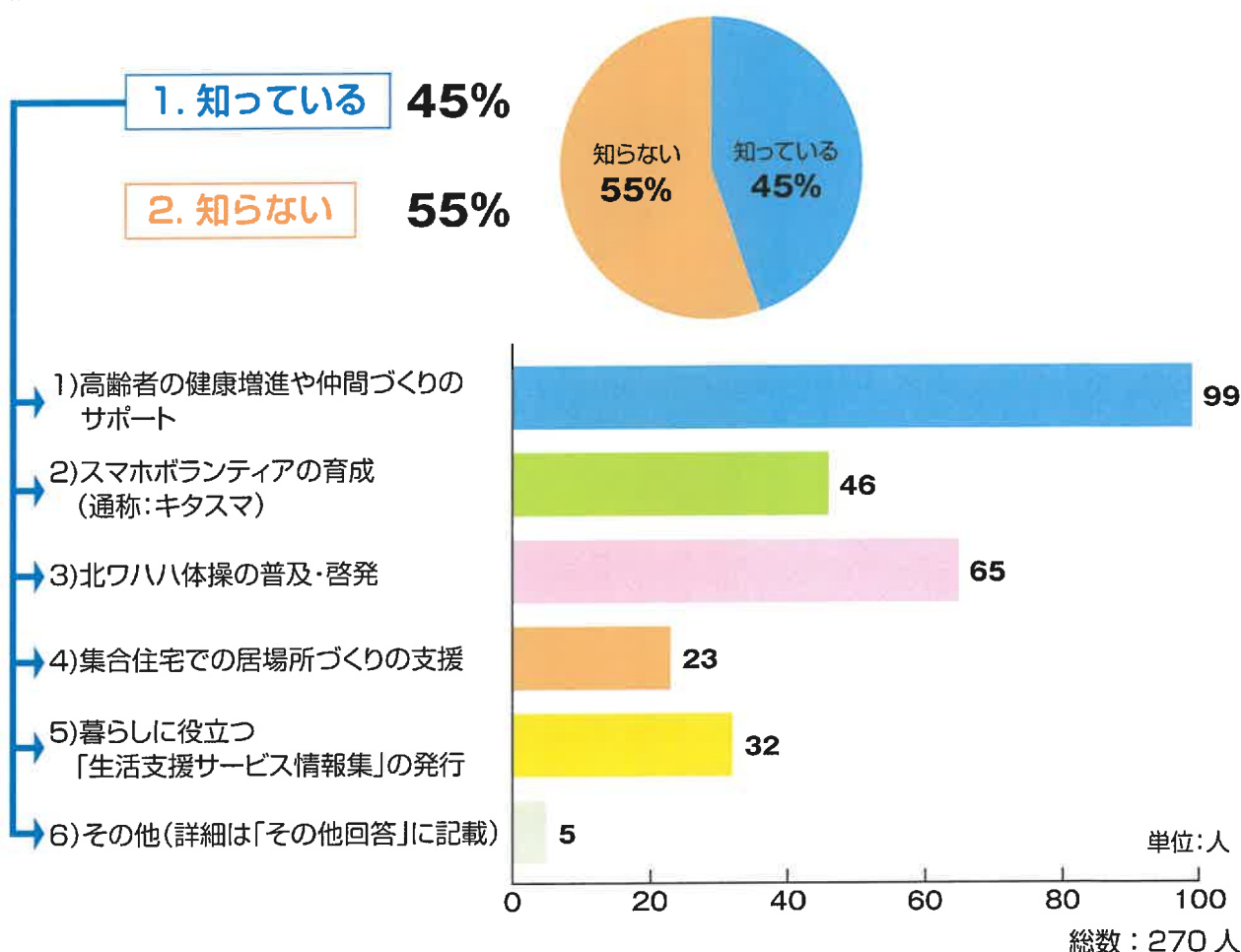
結果の概要

- ◎ 「知らない」との回答が半数を超えている。
- ◎ 内容把握の最多は「知っているが、相談したことはない」の 99 人。
- ◎ 次に「相談窓口を紹介したことがある」の 28 人。
- ◎ 窓口が区役所というのがハードルが高い。初めに相談するとすれば地域の方等の意見もある。



Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きします。

問 17 北区社会福祉協議会では、高齢者がいつまでも元気で暮らしていくための地域のコミュニティづくりをすすめる“生活支援コーディネーター”を配置しています。あなたは、生活支援コーディネーターの活動内容をご存じですか？「知っている」と回答された方は、1)～6)についてもお答えください。（複数回答可）



その他回答

●生活支援コーディネーターの存在や詳しい活動内容について、地域住民に幅広く知られていないと感じる。

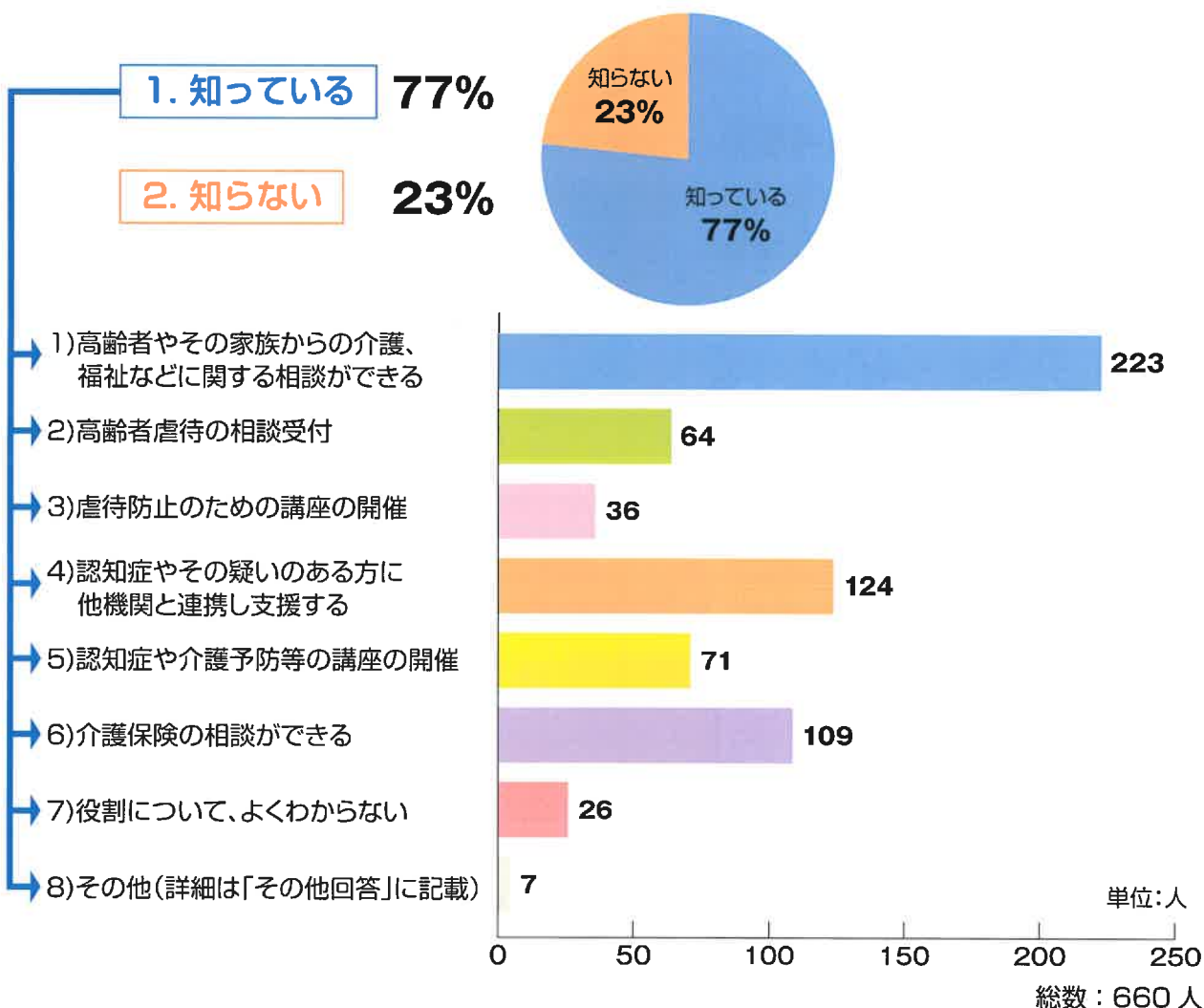
結果の概要

- ◎活動内容の最多は「高齢者の健康増進や仲間づくりのサポート」の99人。
- ◎次に「北ワハハ体操の普及・啓発」の65人。
- ◎一方で、存在や詳しい活動内容について地域住民に幅広く知られていない等の意見もある。



Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きします。

問 18 介護保険事業や高齢者の生活に関する総合相談窓口として「地域包括支援センター」（ランチを含む）があります。あなたは、地域包括支援センターの役割をご存じですか？「知っている」と回答された方は、1)～6)についてもお答えください。（複数回答可）



その他回答

- 地域包括支援センターの存在や役割について、地域住民に幅広く知られていないと感じる。
- 役割について具体的に認識していなかった。
- 地域福祉コーディネーター（CO）の仕事に就いて初めて知りました。
- 利用する機会がない。
- 身内の介護が必要になった時に相談したことがある。

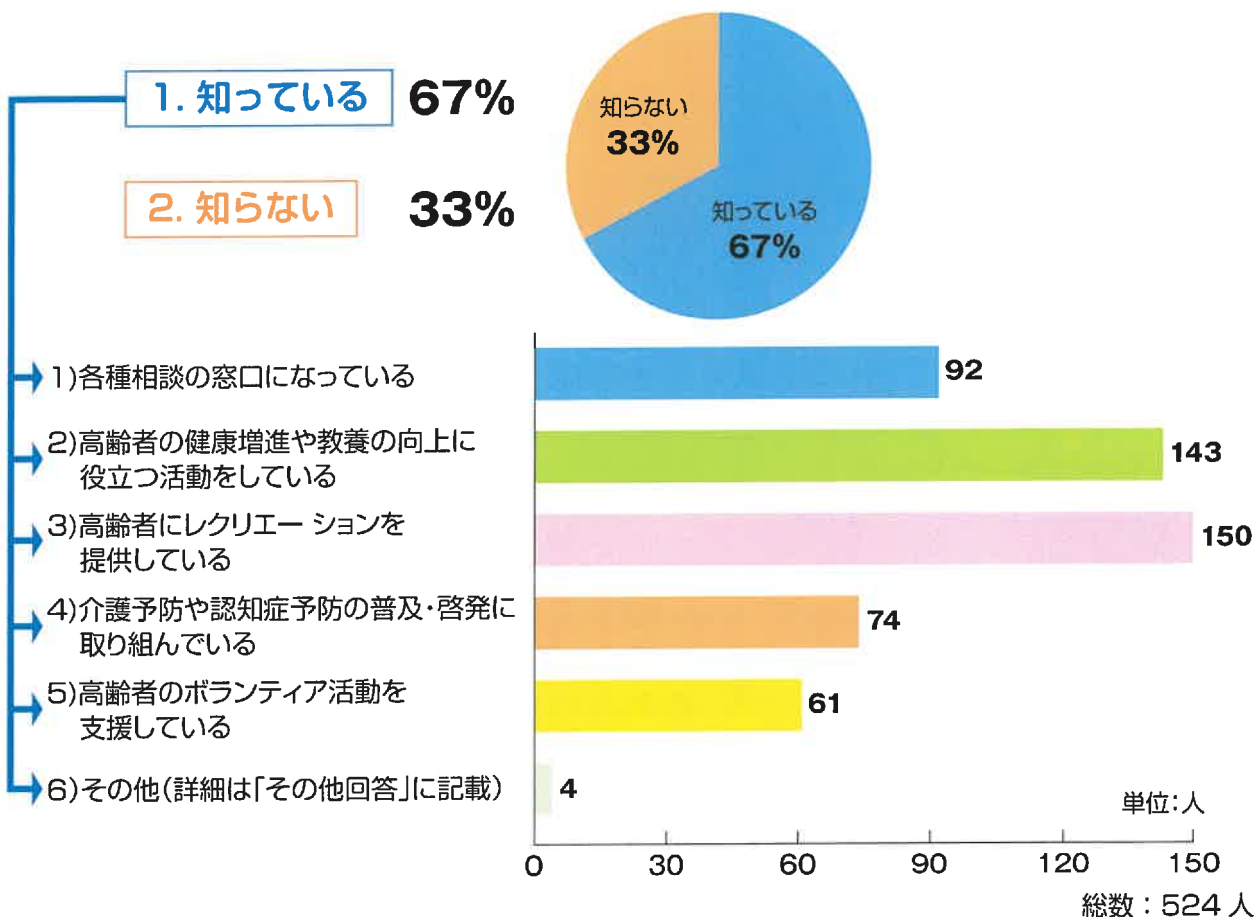
結果の概要

- ◎ 役割の最多は「高齢者やその家族からの介護、福祉などに関する相談ができる」の 223 人。
- ◎ 次に「認知症やその疑いのある方に他機関と連携し支援する」の 124 人。
- ◎ 一方で、存在や役割について、地域住民に幅広く知られていない等の意見もある。



Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きします。

問 19 北区では“老人福祉センター”が北(同心)と大淀(本庄東)の2か所にあります。あなたは老人福祉センターの役割をご存知ですか？
「知っている」と回答された方は、1)～5)についてもお答えください。(複数回答可)



3. 老人福祉センターに期待することがありましたら、ご記入ください。

- 手話歌など
- 老人福祉センターの活動内容についてまだ一部の住民に周知出来ていない。積極的な広報が必要と思う。
- 地域とのかかわりが少なすぎる。
- 百歳体操脳トレのサポーター活動をしています。北区だけでなく他区からも参加くださっています。一緒に共有して元気で健康な一日が長く続くことを祈っています。
- 北区老人福祉センターは色々な事に取り組み高齢者が行きやすい場所になっている。
- 地域内にあるにもかかわらず地域と密着していない。
- 高齢者を取り囲む人々の支援内容を充実させてください。

Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きします。

問 19 北区では“老人福祉センター”が北(同心)と大淀(本庄東)の2か所にあります。あなたは老人福祉センターの役割をご存知ですか？
「知っている」と回答された方は、1)～5)についてもお答えください。（複数回答可）

その他回答

- 健康増進や教養の向上は、具体的にどのようなことをしているのか知りたい。介護予防、認知症の予防は具体的にどのようにするのか。
- 体調改善運動、男性の運動塾、圧倒的に女性が多いので、男性限定の運動を増やしてほしい。
- 男性の運動を増加していく、コミュニケーションをとれる場を考えて。今は囲碁、将棋等はやっているが男の運動塾は良いと思う。
- おもちゃ病院でボランティア活動中。
- きめ細かい広報を徹底すること。
- 設置個所を増やしてほしい。
- センターの存在場所を知らない人が多いと感じる。利用したことなく、広報などでみたことはあるが、私自身も活動内容をよく分かっていない。

結果の概要

- ◎配置効果の最多は「高齢者にレクリエーションを提供している」の150人。
- ◎次に「高齢者の健康増進や教養の向上に役立つ活動をしている」の143人。
- ◎一方で、活動内容についてまだ一部の住民に周知出来ていない等の意見もある。



Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きます。

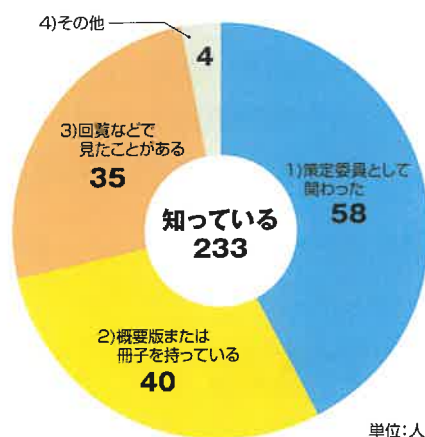
問 20 北区では、身近な地域において地域福祉活動を推進できるよう“小地域福祉活動計画”の策定支援を進めています。あなたの住んでいる地域の「小地域福祉活動計画※」をご存じですか？「知っている」と回答された方は、1)～4)についてもお答えください。（複数回答可）

1. 知っている 233人

- 1) 策定委員として関わった
- 2) 概要版または冊子を持っている
- 3) 回覧などで見たことがある
- 4) その他

具体的に：

- 新しい制度より、今ある制度の周知、活動をまず生かす。
- 現状より小さい地域で活動するには、担い手不足が課題になると思う。
- 活動がわからない。具体的には名前だけ知っている状態です。

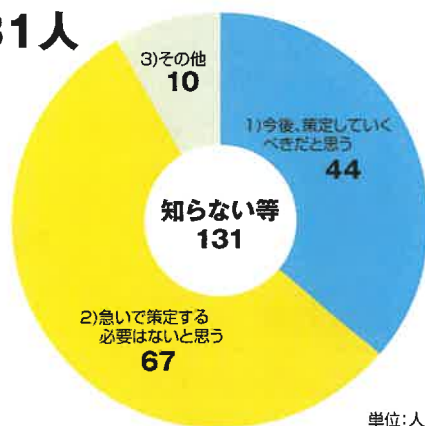


2. 知らない、わからない、策定されていない 131人

- 1) 今後、策定していくべきだと思う
- 2) 急いで策定する必要はないと思う
- 3) その他

具体的に：

- 継続して活動されているのか?など、詳しく知らない。
- 組織、役割の整理が必要だと思う。
- 現在は住民が少ないので、今後必要に応じて策定しては。
- スマホのラインに案内されている。



※策定されている9地域の小地域福祉活動計画(策定順)

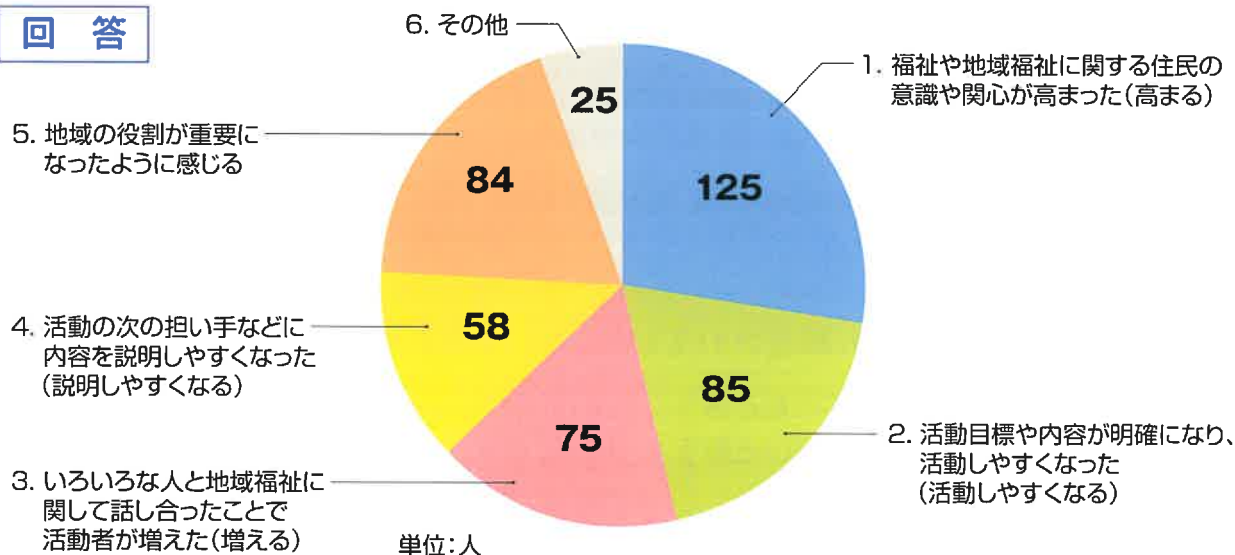
- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ① 豊崎えとこプラン(平成27年度) | ② 北天満グリーンネットプラン(平成27年度) |
| ③ みんながつながる中津プラン(平成27年度) | ④ 豊崎東スマイルプラン(平成27年度) |
| ⑤ 大淀東熱血ほっこりプラン(平成28年度) | ⑥ 大淀西ニコニコプラン(平成28年度) |
| ⑦ 梅田東リングリングつながりプラン(平成28年度) | ⑧ 本庄アイリスプラン(平成30年度) |
| ⑨ 済美ふるさとプラン(平成30年度) | |

Ⅲ. あなたの地域の福祉の取り組みについてお聞きします。

問 21 地域で「小地域福祉活動計画」を策定することにより、どのような効果を期待しますか？（複数回答可）

1. 福祉や地域福祉に関する住民の意識や関心が高まった（高まる）
2. 活動目標や内容が明確になり、活動しやすくなった（活動しやすくなる）
3. いろいろな人と地域福祉に関して話し合ったことで活動者が増えた（増える）
4. 活動の次の担い手などに内容を説明しやすくなった（説明しやすくなる）
5. 地域の役割が重要になったように感じる
6. その他（詳細は「その他回答」に記載）

回 答



総数：452 人

その他回答

- 地域のことが少しわかった。
- この計画について説明して欲しいです。
- 色々といっぱいあってわかりにくい。困ったら相談内容にかかわらずひとつのところに行って、それから分かれるほうが良いと思う。
- 策定されているものの実際の活動につながっていないと感じる。
- 知っている人はボランティアに関わっている人など特定の人に限られている。そういう場が増えているのは良いこと。
- 人と人とのつながり、話す機会や交流が多くなった。
- 担い手の増加につながる仕組みづくりが難しいが必要。
- 小地域内の様々な団体の人と知り合えた。

結果の概要

- ◎ 最多は「福祉や地域福祉に関する住民の意識や関心が高まった（高まる）」の 125 人。
- ◎ 次に「活動目標や内容が明確になり、活動しやすくなった（活動しやすくなる）」の 85 人。
- ◎ 一方で、策定されているものの実際の活動につながっていないと感じる等の意見もある。

IV. 地域福祉全般に関連した取り組みについてお聞きします。

問 22 北区では、誰もが地域社会の中で、安心して暮らしていくことができるよう、取り組んでいます。あなたは、地域活動のなかで次のような人を見かけたり、連絡したことはありますか？（複数回答可）

1. 高齢者に関すること
2. 障がい者に関すること
3. 子どもに関すること
4. 虐待の疑いのある世帯
5. 孤立している人・ひきこもっている人
6. 日常生活で介助や支援を必要とする人
7. 家族等の問題で困っている人
8. 生活上の課題などを抱えている人

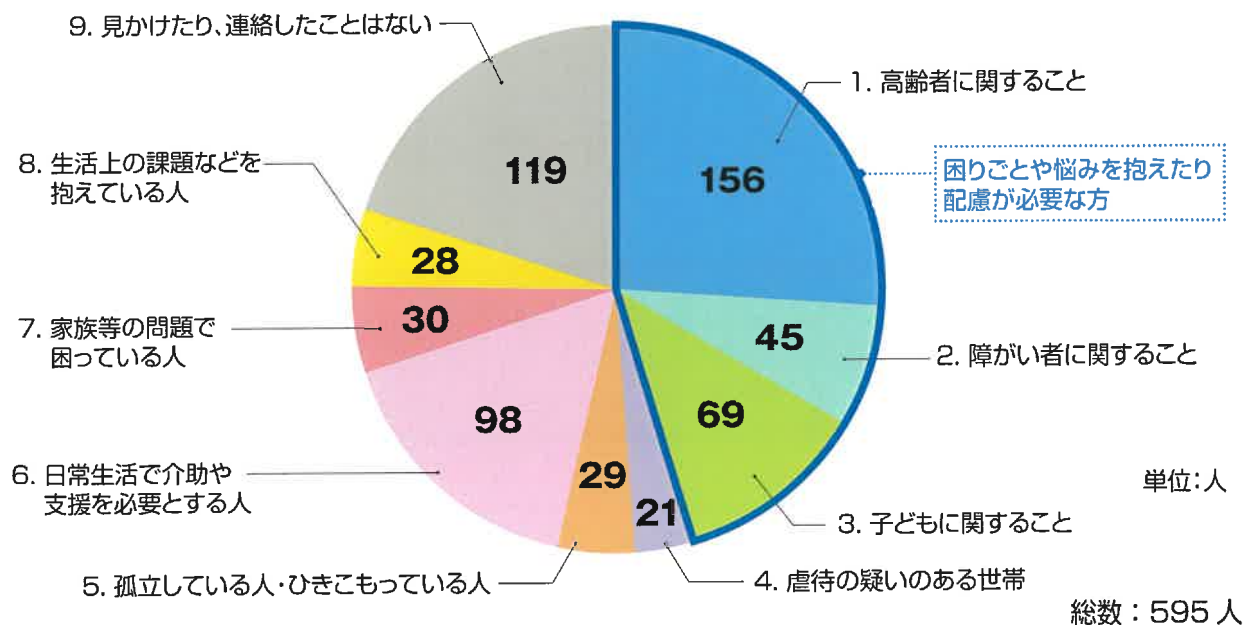
困りごとや悩みを抱えたり配慮が必要な方

内容を具体的に：

- 家族の病気、失業、借金、不登校など。
- 生活保護を必要とされている方の相談。
- 金銭的問題 生活費が足りない、生活苦など。
- お金をなくして明日から食べる物が無いので借入れしたい。
- 高齢者の経済的問題。
- 1人住まいなのに近隣とのつながりがない。
- 就労が困難な為、生活保護につなげた。
- 独居の方を民生委員の方に知らせた事がある。

9. 見かけたり、連絡したことはない

回 答



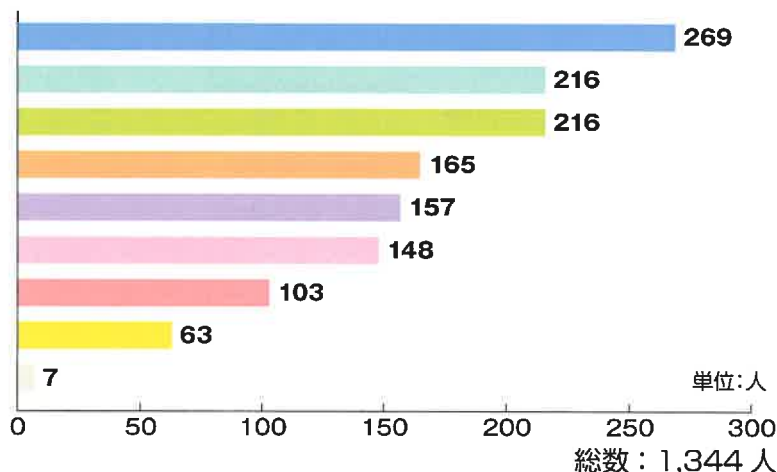
Ⅳ. 地域福祉全般に関連した取り組みについてお聞きします。

問 23 あなたは、地域や行政などが取り組みを進めるべき対象者や内容は 何だと思いますか？（複数回答可）

回 答

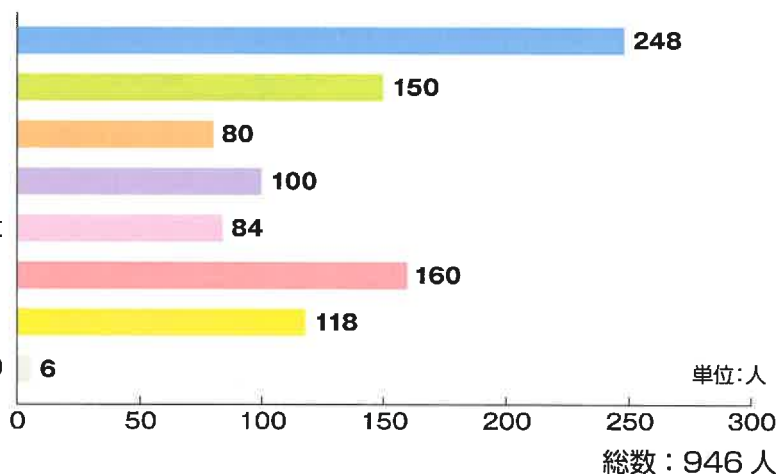
■ 問23-1 【対象者について】

1. ひとり暮らし高齢者世帯
2. 高齢者のみの世帯
3. 病気や認知症の方がいる世帯
4. 生活が困窮している世帯
5. 障がい者(児)のいる世帯
6. 母子・父子などひとり親世帯
7. 乳幼児のいる世帯
8. 小学生から18歳の子どもがいる世帯
9. その他(詳細は「その他回答」に記載)



■ 問23-2 【内容について】

10. 孤独死(孤立死)に関すること
11. 虐待やいじめに関すること
12. 自殺防止に関すること
13. 家庭内暴力に関すること
14. DV(ドメスティックバイオレンス)に関すること
15. ヤングケアラー※¹に関すること
16. 8050問題※²に関すること
17. その他(詳細は「その他回答」に記載)



※ 1 ヤングケアラー

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。

※ 2 8050 問題

80 代の親が 50 代の子どもの生活を経済的・精神的に支えるという問題

IV. 地域福祉全般に関連した取り組みについてお聞きします。

**問 23 あなたは、地域や行政などが取り組みを進めるべき対象者や内容は
何だと思いますか？**（複数回答可）

.....

その他回答

問 23-1 【対象者について】

- 対象者を限定して活動することは問題があると感じる。
- 引きこもり／不登校の児童生徒
- スマホ・インターネットが利用できない世帯

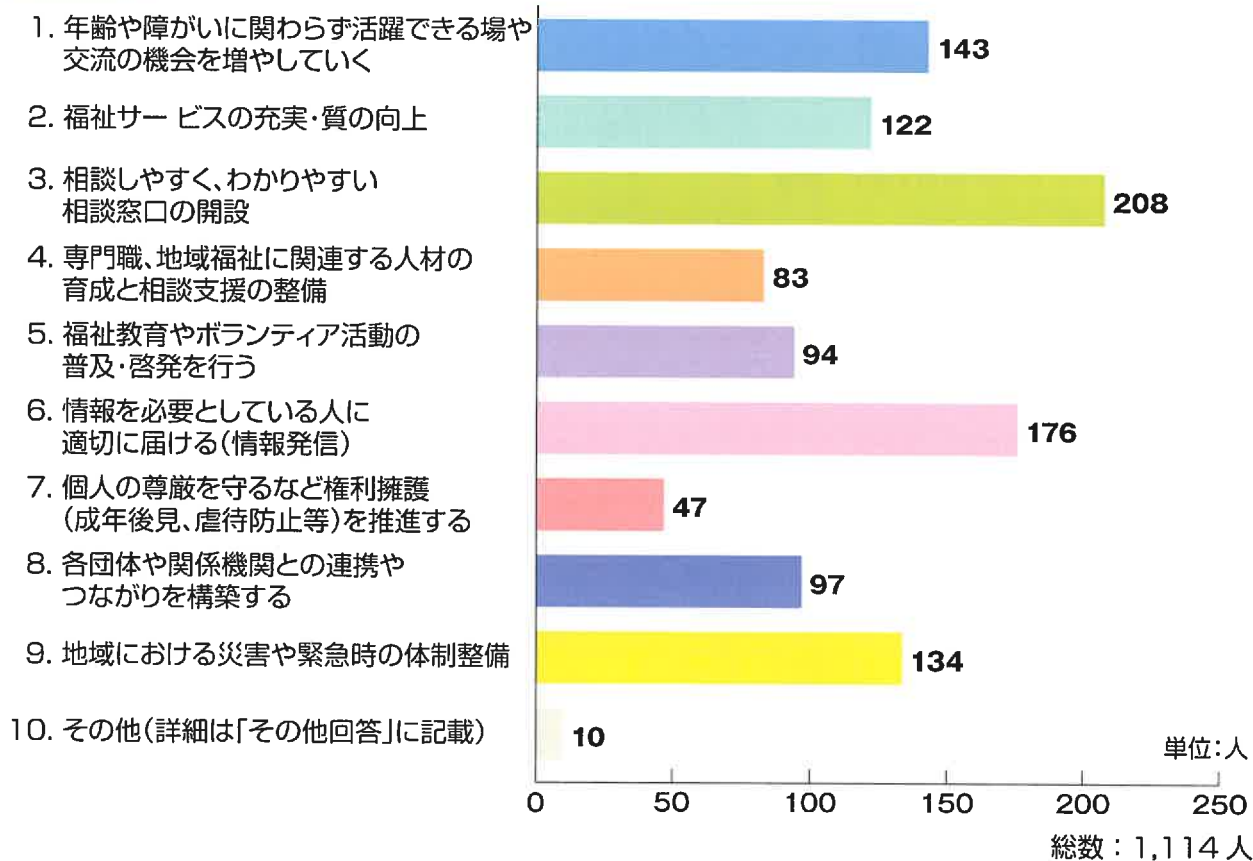
問 23-2 【内容について】

- 子育て支援
- 高齢になり体力的・経済的に苦しくなっても自立して生活できるよう支援してもらえるようにしてほしい。
- 行政が取り組むべきかそうかは慎重に検討する必要があると思う。形式的な働きかけで効果が出ることと逆効果になることがあると思う。
- 地域に協力していける担い手をつくる、行政との横とのつながり。
- 問題になる前にちょっとしたことでも相談できる関係作り。
- 学校の先生の負担減。不登校など心のケアの専門家を入れるなど地域でよりそうなど多面的な人手対応。

Ⅳ. 地域福祉全般に関連した取り組みについてお聞きます。

問 24 あなたは、地域や行政が地域福祉を推進するための課題や内容は何かと思いますか？（複数回答可）

回 答



その他回答

- 担い手がない。
- いろんな窓口はたくさんあるが認識されていない。
- 支援を行う人同士のコミュニケーション。
- 広く浅くでも良いと思う。
- 児童のひきこもり問題の解決は必要。学校と地域で！
- 平日労働している人が多くボランティア要員が減少している。
企業でボランティア活動をすすめるなどの意識醸成や環境づくりが必要。
- 心に余裕をもって楽しんで活動できる。意欲を育てる。情報発信 コミュニティづくり。
- 連合振興町会加入促進。

「地域福祉」とは、誰もが地域で安心して自分らしく暮らせるよう、地域に関わるすべての人が主役となり、力をあわせて、ともに生き、ともに支え合い、誰もが生活をともに楽しむ地域をつくりあげていくことをいいます。

結果の概要

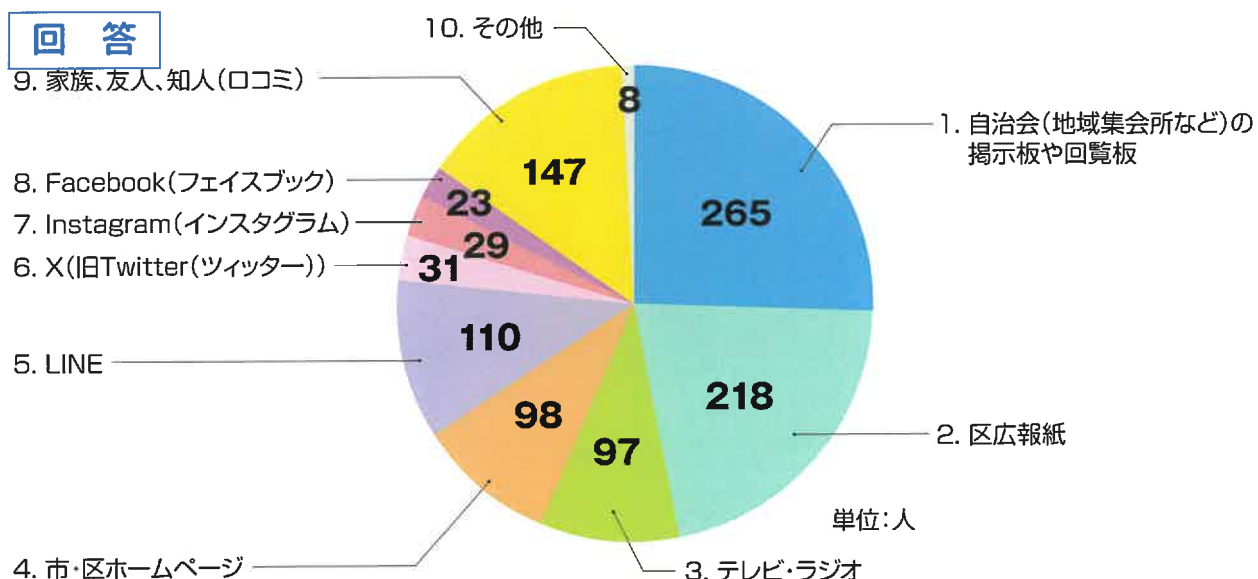
- ◎ 最多は「相談しやすく、わかりやすい相談窓口の開設」の 208 人。
- ◎ 次に「情報を必要としている人に適切に届ける（情報発信）」の 176 人。
- ◎ その他、担い手・ボランティア要員の減少等の意見もある。

IV. 地域福祉全般に関連した取り組みについてお聞きします。

問 25 身近な地域情報について、どの情報源から発信されるのが情報を得やすくなると思いますか？（複数回答可）

1. 自治会（地域集会所など）の掲示板や回覧板
2. 区広報紙
3. テレビ・ラジオ
4. 市・区ホームページ
5. LINE
6. X（旧 Twitter（ツイッター））
7. Instagram（インスタグラム）
8. Facebook（フェイスブック）
9. 家族、友人、知人（ロコミ）
10. その他（詳細は「その他回答」に記載）

回 答



その他回答

- 実際に会って話し合ったり、提案や説明がしたい。介護、支援事業所の協力が必要。
- ご高齢の方などには各戸郵送などが出来れば理想的。
- 集会所での事業参加中にプリント配布やお知らせくださると有難いです。
- 自ら情報を取りにいかないといけない HP ではなく、登録しておけば自然と情報が流れてくるツール。
- 街頭やスーパーマーケットなどへのデジタルサイネージの設置。

結果の概要

- ◎最多は「自治会（地域集会所など）の掲示板や回覧板」の 265 人。
- ◎次に「区広報紙」の 218 人。
- ◎従前型の紙媒体等の需要は高いが SNS 等を利用する声もあり、双方のメリットを有効活用する必要がある。

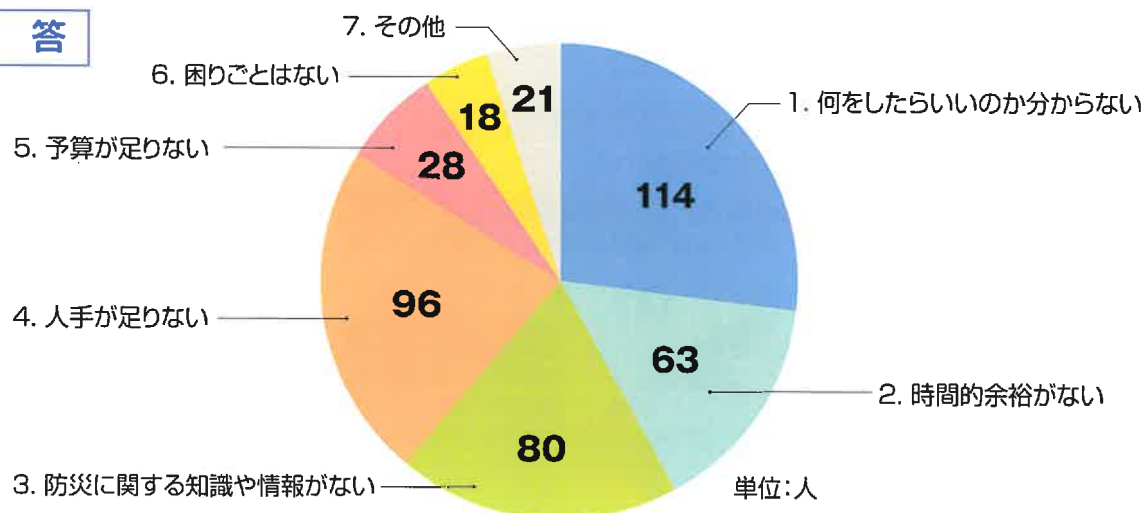


V. 地域防災に関連した取り組みについてお聞きします。

問 26 あなたが地域防災活動を行うにあたり困っていることはありますか。
最も大きな困りごとを 1 つ選んでください。

1. 何をしたらいいのか分からない 2. 時間的余裕がない 3. 防災に関する知識や情報がない
4. 人手が足りない 5. 予算が足りない 6. 困りごとはない
7. その他（詳細は「その他回答」に記載）

回 答



総数：420 人

その他回答

- 取り組むべき事なのに、なかなか取り組めない・・・。
- 大半の人が無関心。防災人材のなり手が圧倒的に少ない。
- 災害時にまず自身の安全を確保し、動ける状態である事。
- 地区内の連携を強化する。
- 防災活動を担っているが、その方法が正しいか不安。
- 住民の防災に対する問題意識が不足している。
- 限られた人しか防災訓練の体験をしていないように思う。危機感を持っている人がまだ少ないと思う。
- 学校連携
- 防災マップ以外、具体的にはわからない。
- 住民の関心が薄い。
- 歩行困難な高齢者の誘導。
- 防災訓練に多く参加して頂く方法。
- 防災訓練等のシミュレーションする機会が少ない。

結果の概要

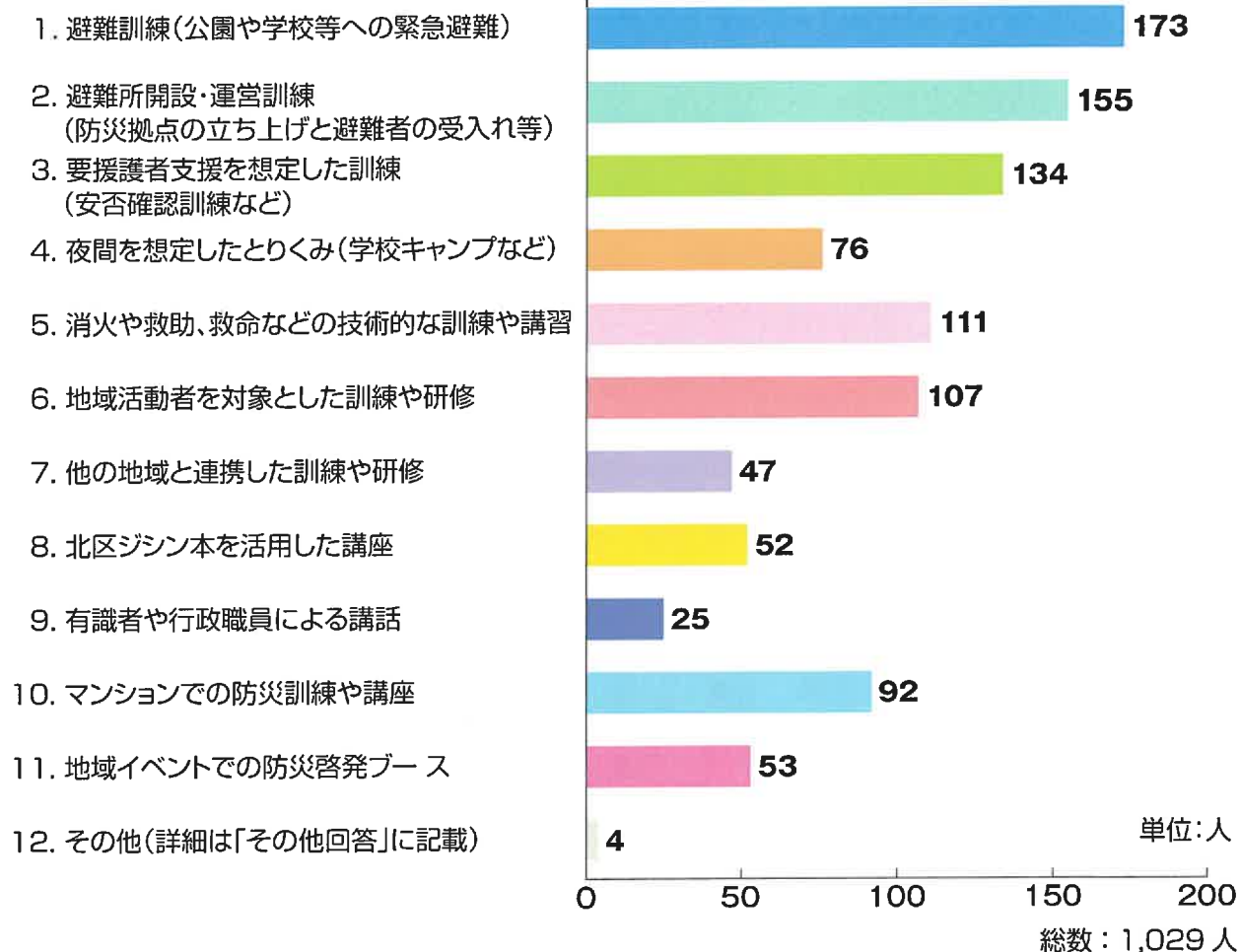
- ◎ 最多は「何をしたらいいのか分からない」の 114 人。
- ◎ 次に「人手が足りない」の 96 人。
- ◎ その他、住民の関心が薄いといった意見もある。

V. 地域防災に関連した取り組みについてお聞きます。

問 27 今後、地域で開催したい防災訓練や研修等について選んでください。

(複数回答可)

回 答



その他回答

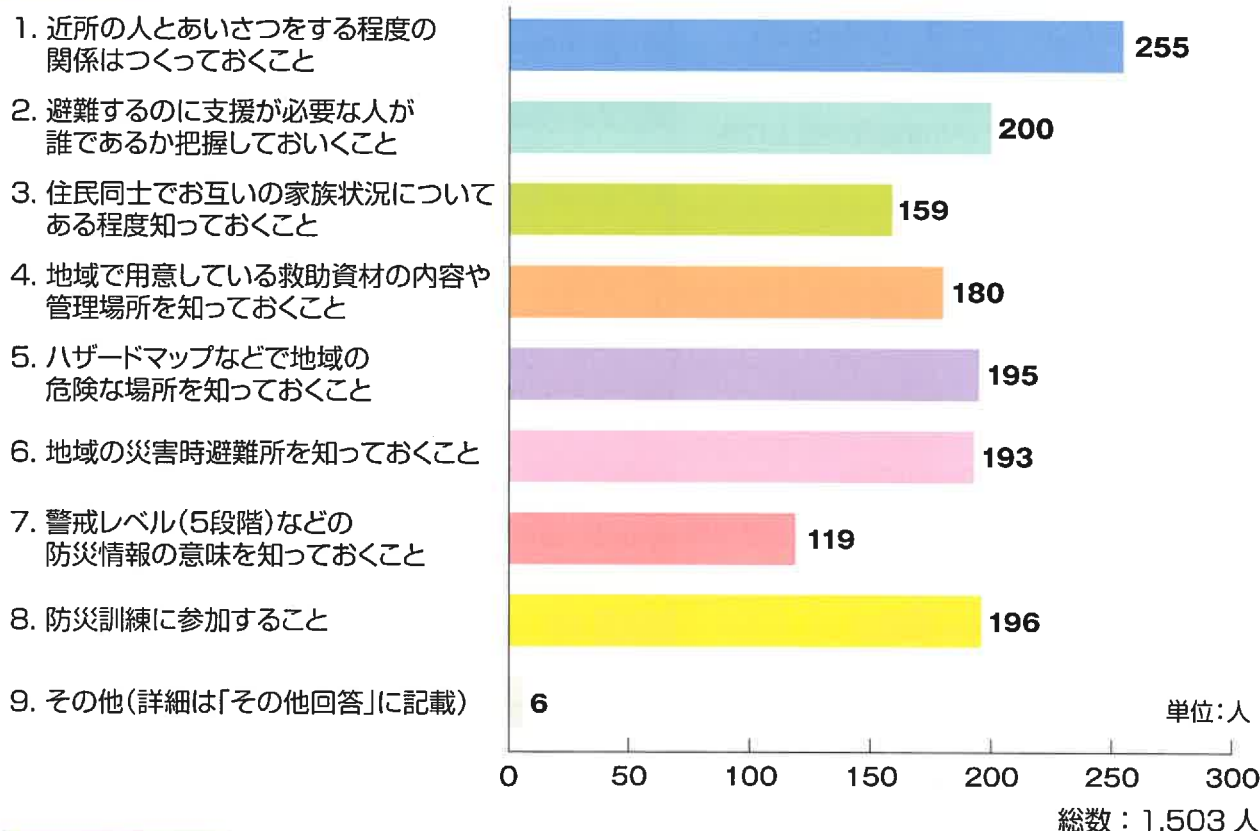
- 地域活動者に若い人の参加が増えること。高齢者の割合が多いのでは。
- 行政の取組を強化してほしい。
- 水害時の避難訓練。
- 津波避難の対応、防災まち歩きなど逃げ方危険箇所の確認、防災タイムラインの確認、全住民へ町会の役割を知らせる。
- 商店街など、人の多く集まる場所等での訓練。



V. 地域防災に関連した取り組みについてお聞きします。

問 28 大規模災害発生時を想定した地域での備えやつながりについて、大切なことは何だと思いますか？（複数回答可）

回 答



その他回答

- 大規模マンションは、マンション 1 棟で町会程度の自治会を持てもらうなどの協力を求める。
- 在宅避難者の支援方法の仕組みづくり。
- 自分の住んでいる地域でどのような災害が発生するのか。そして、その時どんな不具合が生じるのか。普段から被害予想や対策を考え、準備することが必要。
- 地域住民が具体的に災害時の練習ができるような訓練 他人事とならない自分事と思えるような訓練、練習。
- 普段から要援護者を確認しておく。顔合わせを区や社協からサポートする（定期的に）。
- 帰宅困難者対策との関係を含めた全体像の把握。

結果の概要

- ◎ 最多は「近所の人とあいさつをする程度の関係はつくっておくこと」の 255 人。
- ◎ 次に「避難するのに支援が必要な人が誰であるか把握しておいくこと」の 200 人。
- ◎ 日ごろからの地域でのつながりが大切であるといえる。

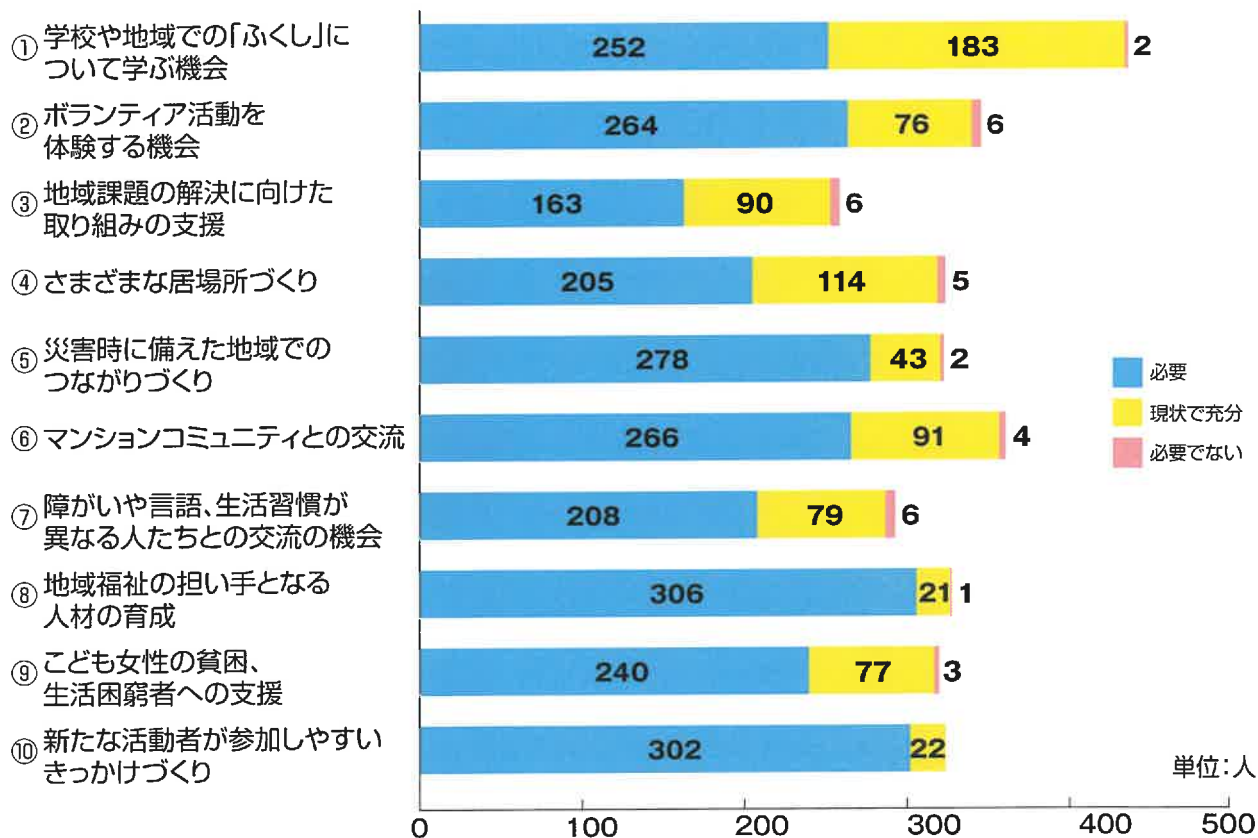
Ⅵ. 今後の地域福祉の展開についてお聞きします。

問 29 あなたは、地域で地域福祉をさらに充実していくため、必要だと思うものは何ですか？（各項目について 1 つだけ○印を記入してください）

項 目	必 要	現状で充分	必要でない
① 学校や地域での「ふくし」について学ぶ機会	252	183	2
② ボランティア活動を体験する機会	264	76	6
③ 地域課題の解決に向けた取り組みの支援（詳細は「主な課題」に記載）	163	90	6
④ さまざまな居場所づくり	205	114	5
⑤ 災害時に備えた地域でのつながりづくり	278	43	2
⑥ マンションコミュニティとの交流	266	91	4
⑦ 障がいや言語、生活習慣が異なる人たちとの交流の機会	208	79	6
⑧ 地域福祉の担い手となる人材の育成	306	21	1
⑨ こども女性の貧困、生活困窮者への支援	240	77	3
⑩ 新たな活動者が参加しやすいきっかけづくり	302	22	0

※集計については複数回答も含んでいます。 単位：人

回 答



Ⅵ. 今後の地域福祉の展開についてお聞きます。

問 29 あなたは、地域で地域福祉をさらに充実していくため、必要だと思うものは何ですか？（③地域課題の解決に向けた取り組みの支援）

主な課題

- 住民と勤務のために地域に来ている人達などとのつながりの希薄化。
- 都心部での災害対応のあり方など。
- 自分が助けを必要としないと、意識しないのかもしれませんが。福祉の必要性を、気がついた人から活動を始めるしかない。
- 人材不足が何をするにもネックになっていると思います。
- 交流が苦手な都心のマンションを買ったと言われた事がある。近所付き合いが嫌（苦手）な人に町会の行事には誘いにくいです。
- 複雑な人間関係が嫌でタワマンに来る人もいるので大変難しい問題です。「そっとしといて」と言われた事もあります。
- 一人暮らしの高齢者の見守りや支援。
- 住民同士のつながり。
- 町会加入者を増やす。
- 少子高齢化社会に対して担い手不足。
- 町会加入の意義について、住民への説明と理解・意識醸成。
- ボランティアが高齢化している、若い人の参加など担い手の確保や活動者の増加が必要。
- マンション入居者への対応に向けて窓口を広げることは出来ないでしょうか？



VI. 今後の地域福祉の展開についてお聞きします。

問 30 その他、地域福祉に関してご意見がございましたら、お書きください。

- 非常に難しい問題。すべてを行政に依存するのは負担が大き過ぎる感じを持つが、基本的に行政側が本当に福祉が必要な人たちの情報収集をするために地域住民の私たちが出来るだけ協力しなければならないと考えます。
- 住んでいる人が多いため、つながりがつくりにくい。同じマンションでも名前を知らないなど、近隣のつながりが希薄。
- 各マンションでの備蓄や体制づくり強化。
- 地域福祉について分からないことが多すぎるので地域に出向いて説明してほしいです。
- 地域ボランティアは高齢化が進み、同じ方がいろんな組織に名前をつらねており、活動する方が同じ方ばかりで負担が大きい。
- 災害に対する意識は低くないと思っています。しかし災害が起きた場合、住民同士が協力し助け合うことが上手く行うことができるのか？（避難所開設・運営について）
- 「いろいろな活動」について 3～4年間のコロナ禍で再開活動しましたが、休止期間が思った以上に変化が大きく、実情が把握できない現状です。
- 地域の事をもっと知って、地域の取り組みを主導し、発信や紹介ができる人材の育成を進めて欲しいです。
- 区役所では、いろいろ相談窓口が開かれているようですが、地域のどこでどんな相談を受け付けているのか全くわかりませんでした。この全部を一人一人がよく知っていたらもっと充実した地域になるのではないかと考えます。広報活動が大事かと思っています。
- 地域のいろいろな活動について聞いたことがある程度で、活動内容はほとんど知りません。特別な人のみの活動になっても仕方がないかもしれませんが、同じ人がいろいろな活動に携わっているように思えます。
- 地域福祉に従事している人と、そうでない住民との間の意識や関心に差がありすぎると感じる。まずは活動内容の充実に努めることであると思います。
- 地域ごとの災害時のボランティアと登録をしておく。協力できる人を公募しておいて事前の訓練をしておく。
- 住んでよかったと思える地域になるように住民としてお互い様の気持ちで助けられる関係を作っていくことが大切。
- 子育て世代が地域に参加して楽しい思い出を作ることが大切。その後一時期離れたとしても、また地域の担い手として戻ってきてくれることを望みます。
- 困った状況に陥ったらそのケースに合わせてどこへ協力を求めればよいか、わからないと聞いたことがあります。とりあえずここへというような窓口を周知させることが大切。
- 行政、地域社協・民生等との連携の強化。
- いくら良いプログラムを作ったり広報しても、情報を得て参加する人が広がっていかないと感じます。いつも同じ顔ぶれの参加者と思うことも少なくありません。
- 福祉といえば範囲が広いので、それを全体的に網羅するのではなく、地域コミュニティのコンセンサスとして情報づけする必要があると思う。
- 福祉や防災に関して学ぶ機会が住んでいる地域内であれば良いと思います。
- 一部の人は頭が下がりますが、地域福祉に多くの人が関心がないと感じる。
- 賃貸マンション等の増加で顔見知りの人が少なくなり、担い手が減っていく中、現在頑張っている方がたくさん居られますが、担い手自体も高齢化、人手不足などが進む中、福祉活動に関わりたいと考える方が少なくなったと感じる。
- 地域全体に高齢化が進み若い人の力が欲しい。マンションが多くなり、住民の方をほぼ知らないなので活動が難しくなっている。
- 今の課題は若い人たちとどうやってつながるかだと思う。
- 地域活動はやりがいがあるので元気で続けたい気持ちは大きいけれど、歳と共に体力が低下で継続できるか不安。
- 病気療養を経て復帰したボランティアの方も仲間を気づかい、また、頑張って再活動して下さっている。次の担い手の存在は大きい。
- ボランティア活動の担い手不足を痛感。自身も含めて今後続けて（高齢化も含む）いけるのか心配です。
- 地域でのイベント開催の会場が少ない。

Ⅵ. 今後の地域福祉の展開についてお聞きます。

問 30 その他、地域福祉に関してご意見がございましたら、お書きください。

- 様々な研修や勉強会に参加したいと思っておりますが時間的な制約が課題です。
- 主催者側のご苦勞は承知ですが何回かに分けていただければ受講しやすいです。いつもありがとうございます。
- 町会の枠組みだけではなく、様々な団体との協働が必要。
- 学校と地域がもっと一体となるべき。そのためには先生方がもっと地域を知るべきだと思う。
- 高齢者のワンルームマンションでの独居が多くなったと感じるのでその問題も考えるべき（災害時など）。
- 学校 PTA がもっと地域に協力してほしい。
- いつも同じメンバーばかりで活動しているのもっと若い人が参加できる体制があればよい。
- 問題解決を実施する時に経験した事は、事案の発生時に現状を考え、無理であると決めつける事が一番危険。あきらめず心折れることなく継続して欲しい。
- 地域団体の種類や数が多すぎる。団体を減らして複合的に活動する方が人員が不足する現状に対応できるのではないか。
- 役所も窓口を 1 つにして何でも対応していただける方がわかりやすくなるのではないか。
- 「担い手」という言い方には違和感を覚えます。サービス提供者と受領者という形ではなくコミュニティの中で双方向の役割を皆で互いに担うものだと思います。
- 行政はもっと地域の声を聞いて実情を知って頂いた方が良いのではないかと思います。
- 地域福祉の担い手となる人材が不足していると感じる。30 代 40 代の年齢層が増えていかないと、活動者が高齢化してきてる。
- 地域福祉といってもほとんどが高齢者向けだと思う。できればもう少し障がい者福祉にもケアして欲しい。細かい話だが、おむつ替えを出来る場所が少なすぎて外出がしにくい。